



ZebraNet® **10/100** プリント・サーバ

ユーザー・ガイド



© 2011 ZIH Corp. このマニュアルおよびラベルプリンタ内のソフトウェアおよびファームウェアの著作権は、ZIH Corp. が所有しています。このマニュアルまたはラベルプリンタ内のソフトウェアおよびファームウェアを不正に複製すると、1年以内の禁固刑または10,000ドル以下の罰金が課せられることがあります (17 U.S.C.506)。著作権に違反した場合、民事責任に問われる場合があります。

この製品には、ZPL[®]、ZPL II[®]、および ZebraLink[™] の各プログラム、Element Energy Equalizer[®] 回路、E³[®]、および Monotype Imaging フォントが使用されています。Software ©ZIH Corp. All rights reserved worldwide.

ZebraLink およびすべての製品名と製品番号は商標であり、Zebra、Zebra のロゴ、ZPL、ZPL II、Element Energy Equalizer 回路、および E³回路は ZIH Corp. の登録商標です (All rights reserved worldwide)。

その他すべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に属します。詳細については、製品 CD に記録されている「Trademarks (商標)」情報を参照してください。

所有権の宣言 このマニュアルには、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (Zebra Technologies) が専有する情報が含まれています。このマニュアルの目的は、記載されている機器について、使用するユーザーに操作および保守情報を提供することにあります。このような専有情報を、Zebra Technologies Corporation の書面による許可なしに、その他の目的のために使用したり、複製を行ったり、または他者に開示することは禁じられています。

製品の改善 製品の継続的な改善は、Zebra Technologies Corporation のポリシーです。すべての仕様や設計は、通知なしに変更される場合があります。

責任の放棄 Zebra Technologies Corporation では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれないよう、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies Corporation は、誤りが発見された場合にそれを補正し、その誤りによって生じる責任を放棄する権利を有しています。

責任の制限 いかなる場合においても、Zebra Technologies Corporation、または付属の製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の作成、製造、または配布にかかわるその他の関係者は、本製品の使用、使用した結果、または使用できなかった結果により生じるすべての損害 (業務利益の損失、業務の中断、または業務情報の損失を含む派生的損害を含むがそれに限定されない) に対し、Zebra Technologies Corporation がそのような損害の発生する可能性を通告されていた場合でも、一切責任を負いません。管轄区域によっては、付随的または派生的損害の除外または制限を認めていない場合があります。そのため、上記の制限または除外がお客様に適用されないことがあります。

目次



本書について	7
対象読者	8
本書の構成	8
連絡先	9
文書の表記規則	10
参考文献	12
1・はじめに	13
概要	14
要件	14
ブラウザ・サポート	14
サポート対象サービス	14
ハードウェア	15
ファームウェア	16
互換性	18
取り付けタイプ	19
外部 10/100 PS 仕様	20
2・取り付け	21
外部 10/100 PS	22
始める前に	22
図	23
取り付け手順	24
内蔵 10/100 PS	26
3・プリンタを使用する前に	27
始める前に	28
デフォルトのユーザー ID とパスワード	28
設定ラベルの印刷	28

IP アドレスの割り当て.....	30
動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 使用	30
DHCP なし.....	30
DHCP による IP アドレスの割り当て	31
ZebraNet Bridge を使用した IP アドレスの割り当て	31
プリンタ LCD からの IP アドレスの割り当て.....	31
Telnet セッションを介した IP アドレスの割り当て	32
アラートの設定と監視.....	34
ZebraLink アラート	34
ZebraNet Bridge の使用.....	36
WebView の使用	36
10/100 PS Configuration Settings (構成の設定) の確認.....	39
ZebraNet Bridge の使用.....	39
WebView の使用	39
プロトコルの有効化.....	43
WebView の使用	43
10/100 PS のデフォルト設定.....	46
WebView の使用	46
ZebraNet Bridge の使用.....	47
テスト・ボタンの使用	47
4・プリント設定	49
BSD (Berkeley Software Distribution) スタイル・プリント・キュー.....	50
プリント・キューの設定	50
System V キューのインストール.....	51
ZebraNet 印刷向けの Operating System V キューの設定	51
前提条件.....	51
UNIX の設定.....	52
5・印刷プロトコルの使用	53
IPP	54
FTP	55
A・ZebraLink WebView	57
WebView	58
ホーム・ページ	58
プリンタ設定の表示.....	60
プリンタの設定の表示&変更をします	61
ディレクトリ・リスト.....	67
プリンタのコントロール	69
プリント・サーバ設定.....	71
Zebra BASIC Interpreter (ZBI)	71

B • 10/100 プリント・サーバ	73
10/100 PS 機能	74
ステータスと設定	74
プリント・サーバ・ステータス	83
リセット	85
再定義	86
1 次ネットワーク・プリント・サーバの設定	87
TCP/IP 設定	92
C • コントロール・パネル	97
コントロール・パネルのメニュー・オプション	98
LCD 上の有線ネットワーク・パラメータ	98
D • ハードウェア・トラブルシューティング	101
10/100 PS のトラブルシューティング	102
工場出荷時のデフォルトへのリセット	102
10/100 PS ステータス・インジケータ	102
10/100 PS ネットワーク・ステータス / アクティビティ・インジケータ	103
ZebraNet Bridge 検出または設定の問題	104
印刷できない	104
デバイスを設定できない	106
HP JetAdmin または HP Web JetAdmin	106
E • よくある質問	107
用語集	111
索引	115



メモ • _____

本書について



このセクションでは、各種の連絡先、文書の構造と構成、およびその他の参考情報について説明します。

目次

対象読者.....	8
本書の構成.....	8
連絡先	9
文書の表記規則	10
参考文献.....	12

対象読者

この ユーザー・ガイド は、10/100 PS を取り付け、操作するユーザーを対象としています。

本書の構成

この ユーザー・ガイド は以下のように構成されています。

セクション	説明
<i>はじめに</i>	この章では、10/100 PS デバイスの概要、取り付けタイプ、標準ネットワーク設定、10/100 PS の操作方法などについて説明します。
<i>プリンタを使用する前に</i>	この章では、最も頻繁に使用する 10/100 PS 機能に関する情報と操作手順について説明します。
<i>取り付け</i>	この章では、10/100 PS の取り付け方法について説明します。
<i>プリント設定</i>	この章では、BSD または System V キューでできるようにプリンタを設定する手順について説明します。
<i>印刷プロトコルの使用</i>	この章では、ご使用の 10/100 PS で、インターネット (I) 印刷 (P) プロトコル (P) (IPP) およびファイル転送プロトコル (FTP) がサポートされるようにセットアップする手順を説明します。
<i>ZebraLink WebView</i>	この付録では、10/100 PS を搭載した ZebraLink 対応プリンタの ZebraLink WebView 機能について説明します。
<i>10/100 プリント・サーバ</i>	この付録では、27 ページの「プリンタを使用する前に」の章で扱われなかった 10/100 PS の機能の詳細について説明します。
<i>ハードウェア・トラブルシューティング</i>	このセクションでは、既知の問題の解決策について説明します。
<i>よくある質問</i>	このセクションでは、10/100 PS に関するよくある質問 (FAQ) をまとめて説明します。
<i>用語集</i>	この付録は、用語とそれに関連する定義のリストです。

連絡先

インターネットを利用した技術サポートは、年中無休、24 時間受け付け可能です。

Web サイト : www.zebra.com

テクニカル・ライブラリ文書の電子メールによる返送 :

電子メール・アドレス : emb@zebra.com

サブジェクト・ライン :Emaillist

セルフサービス・ナレッジ・ベース : www.zebra.com/knowledgebase

オンライン・ケース登録 : www.zebra.com/techrequest

連絡先の部門	南アメリカ / 北アメリカ	ヨーロッパ、中東、アフリカ	アジア太平洋、インド
地域本部	Zebra Technologies Corporation 475 Half Day Road, Suite 500 Lincolnshire, IL 60069 USA T: +1 847 634 6700 Toll-free +1 866 230 9494 F: +1 847 913 8766	Zebra Technologies Europe Limited Dukes Meadow Millboard Road Bourne End Buckinghamshire, SL8 5XF United Kingdom T: +44 (0) 1628 556000 F: +44 (0) 1628 556001	Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd. 120 Robinson Road #06-01 Parakou Building Singapore 068913 T: + 65 6858 0722 F: +65 6885 0838
技術サポート Zebra 機器およびソフトウェアの操作に関する質問については、販売業者にお問い合わせください。さらに援助が必要な場合は、Zebra までお問い合わせください。 モデル番号とシリアル番号をご用意ください。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) F: +1 847 913 2578 ハードウェア : ts1@zebra.com ソフトウェア : ts3@zebra.com Kiosk プリンタ : T: +1 866 322 5202 E: kiosksupport@zebra.com	T: +44 (0) 1628 556039 F: +44 (0) 1628 556003 E: Tseurope@zebra.com	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国: tschina@zebra.com その他の地域: tsasiapacific@zebra.com
修理サービス部門 プリンタのご送付による修理についてのお問い合わせ。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) F: +1 847 821 1797 E: repair@zebra.com 米国での修理を依頼するには、 www.zebra.com/repair にアクセスしてください。	T: +44 (0) 1772 693069 F: +44 (0) 1772 693046 新しいご依頼 : ukrma@zebra.com ステータスの更新 : repairupdate@zebra.com	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国: tschina@zebra.com その他の地域: tsasiapacific@zebra.com
技術研修部門 Zebra 製品研修コースについてのお問い合わせ。	T: +1 847 793 6868 T: +1 847 793 6864 F: +1 847 913 2578 E: ttamerica@zebra.com	T: +44 (0) 1628 556000 F: +44 (0) 1628 556001 E: Eurtraining@zebra.com	T: + 65 6858 0722 F: +65 6885 0838 E: 中国: tschina@zebra.com その他の地域: tsasiapacific@zebra.com
製品照会部門 製品カタログおよび流通業者、販売業者についてのお問い合わせ。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) E: inquiry4@zebra.com	T: +44 (0) 1628 556037 F: +44 (0) 1628 556005 E: mseurope@zebra.com	E: 中国: GCmarketing@zebra.com その他の地域: APACChannelmarketing@zebra.com
カスタマ・サービス部門 (米国) 国内販売部門 (英国) プリンタ本体、パーツ、用紙、リボンに関するお問い合わせは、最寄の販売代理店または弊社までご連絡ください。	T: +1 877 ASK ZEBRA (275 9327) E: clientcare@zebra.com	T: +44 (0) 1628 556032 F: +44 (0) 1628 556001 E: cseurope@zebra.com	T: +65 6858 0722 F: +65 6885 0836 E: 中国: order-csr@zebra.com その他の地域: csasiapacific@zebra.com

省略記号 : T: 電話
F: ファックス
E: 電子メール

文書の表記規則

本書では、特定の情報を提供するにあたって次の表記規則が使用されます。

代替色（オンラインのみ）相互参照には、このガイドの別の項にジャンプするためのリンクが含まれています。このガイドをオンラインで表示している場合、[青色のテキスト](#)をクリックすると、対応する場所にジャンプできます。

コマンド・ラインの例 コマンドライン例はすべて Courier New フォントで表示されます。たとえば、bin ディレクトリに含まれるインストール後のスクリプトにアクセスするには、次のコマンドを入力します。

```
Ztools
```

ファイルとディレクトリ ファイル名とディレクトリはすべて Courier New フォントで表示されます。たとえば、Zebra<version number>.tar ファイルや /root ディレクトリなどのように表示されます。

注意、重要、注記、および例



注意・静電気放電の危険があることを警告します。



注意・電気ショックを受ける危険があることを警告します。



注意・過剰な温度の上昇によって火傷を負う危険があることを警告します。



注意・特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けなかった場合、身体に負傷を及ぼす危険があることを警告します。

注意・特定の操作を実行しなかった場合、または特定の操作を避けなかった場合、ハードウェアに損傷を及ぼす危険があることを警告します。



注意・目の保護具の着用が必要であることを示します。



重要・タスクの完了に不可欠な情報を提供します。



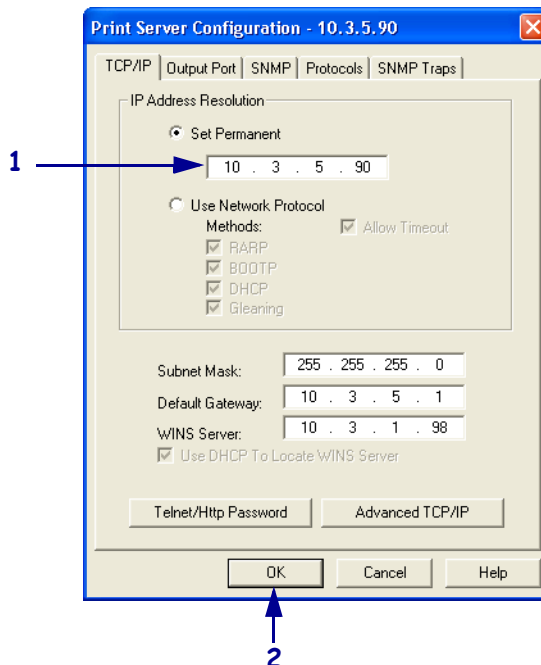
注記・本文の要点を強調または補足する客観的または建設的な情報を示します。



例・テキストの内容を明確にするための例やシナリオを提供します。

図解 ダイアログ・ボックスに関する情報、またはダイアログ・ボックスで実行する手順のどちらかが図に含まれている場合には、図を使用して説明します。

1つの図解で1つのダイアログ・ボックスのセクションを説明し、もう1つの図解で実行する手順を示します。



1	確定の設定テキストボックス。
2	<p>a. Set Permanent (確定の設定) テキストボックスで、プリント・サーバの IP アドレスを入力します。</p> <p>b. 終了したら、OK をクリックします。</p>

参考文献

以下の文献は、参考文献として役立つことがあります。

- *ZebraNet ワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド*
- *ZPL II[®] Programming Guide For x.10 through x.13 Firmware*
- *ZPL II[®] Programming Guide For x.14 Firmware and Above*
- *ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド*



はじめに

この章では、10/100 PS デバイスの概要、取り付けタイプ、標準ネットワーク設定、10/100 PS の操作方法などについて説明します。

目次

概要	14
要件	14
ブラウザ・サポート	14
サポート対象サービス	14
ハードウェア	15
ファームウェア	16
互換性	18
取り付けタイプ	19
外部 10/100 PS 仕様	20

概要

10/100 プリント・サーバ (PS) は、工場出荷時に取り付け / 現場で取り付け (オプション) のデバイスで、ネットワークおよび ZebraLink 対応プリンタを接続します。10/100 PS では、プリンタと 10/100 PS の設定を行う際のユーザー・インターフェイスとして Web ブラウザを使用できます。ZebraNet Bridge を使用する方は、ZebraLink 対応プリンタ専用の機能に簡単にアクセスできます。詳細については、『ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド』を参照してください。



重要・ZebraNet Bridge Enterprise の最新バージョンは、www.zebra.com/utilities からダウンロードできます。

要件

このセクションには、ブラウザ、サポート対象サービス、アドレス管理プロトコル、ハードウェア、ファームウェアなど 10/100 PS の最小要件をリストします。

ブラウザ・サポート

- HTML v3.2 以降

サポート対象サービス

- | | |
|------------|----------|
| • ロー TCP | • FTP |
| • HTTP | • UDP |
| • LPR/LPD | • Telnet |
| • SNMPv1 | • SMTP |
| • POP3 | • WINS |
| • IPP v1.0 | • ARP |

アドレス管理プロトコル

- DHCP
- BootP
- RARP
- 収集
- 確定

ハードウェア

次の表に、10/100 プリント・サーバ (10/100 PS) オプションと互換性のあるプリンタを示します。

プリンタ	外部 *	内蔵 フィールド・アップ グレード	内蔵 工場出荷時
105SL™	•	•	•
R110Xi™	•	•	•
R170Xi™	•	•	•
PAX4™ シリーズ	•	•	•
R110PAX4™	•	•	•
S4M™	•	• *	• *
XiIIIPlus™	•	•	•
Xi4™	•	†	†
R110Xi4™	•	†	†
Z4Mplus™	•	•	•
Z6Mplus™	•	•	•
ZM400™	•	†	†
ZM600™	•	†	†
RZ400™	•	†	†
RZ600™	•	†	†

注記：* プリント・サーバのファームウェア・バージョンの詳細については、[ファームウェア \(16 ページ\)](#) を参照してください。

† 上記のプリント・サーバの詳細については、『ZebraNet 10/100 Internal Print Server User Guide』(p/n: 14197L-xxx) を参照してください。www.zebra.com/manuals から利用できます。

ファームウェア

S4M プリンタ、およびすべての外部プリント・サーバには、複数のバージョンのプリント・サーバ・ファームウェアが用意されています。他のプリンタはすべて、プリント・サーバ・ファームウェア・バージョン 1.01.x を使用します。

正しいファームウェア・バージョンを判別するには、まず、ハードウェア・バージョンを判別してください。

ご使用のハードウェアのバージョンを特定するには、次を実行してください。

手順 1. お手持ちのプリンタとプリント・サーバのタイプは？

お手持ちのもの ...	必要な手順 ...
外部プリント・サーバと 任意のプリンタ	<p>a. プrint・サーバの側面を見てください。</p> <p>b. 17 ページの図 1 を参照してください。バージョンは、コンプライアンス・ラベルに記載されています。</p> <p>c. ハードウェアのバージョン番号は、空白または V2 です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアのバージョンが空白の場合は、V1 (バージョン 1) であると思われます。ファームウェア・バージョン 1.01.x が必要です。 ハードウェアのバージョンが V2 の場合は、ファームウェア・バージョン 2.01.x が必要です。
内蔵プリント・サーバと S4M プリンタ	<p>a. プリンタのバック・プレートを見ます。</p> <p>b. 17 ページの図 2 を参照してください。バージョンは、有線プリント・サーバのブラケット上の薄いコンプライアンス・ラベル上にリストされています。</p> <p>c. バージョン番号は、空白または V2 です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアのバージョンが空白の場合は、V1 (バージョン 1) であると思われます。ファームウェア・バージョン 1.01.x が必要です。 ハードウェアのバージョンが V2 の場合は、ファームウェア・バージョン 2.01.x が必要です。
内蔵プリント・サーバと 他のすべてのプリンタ	<p>a. ハードウェア・バージョンは V1 のはずです。</p> <p>b. ファームウェア・バージョン 1.01.x が必要です。</p>

図 1・外部 10/100 プリント・サーバのコンプライアンス・ラベル (サンプル)

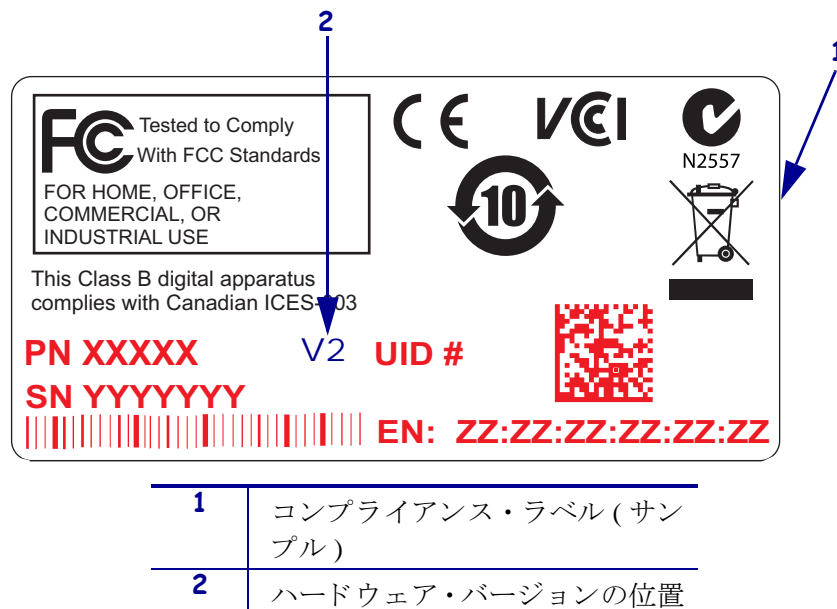


図 2・内蔵 10/100 プリント・サーバのコンプライアンス・ラベル (サンプル)



互換性

このセクションでは、10/100 PS と互換性のある各種のコンポーネントについて説明します。

ZebraNet 無線プリント・サーバ 10/100 PS は、無線プリント・サーバと完全互換です。

ソフトウェア IBM®: Tivoli® v7.1.3, HP®: Web JetAdmin™ v7.0、OpenView™ v6.4、および Zebra Management Information Base (MIB) を介した SNMP 管理アプリケーションはすべて、10/100 PS と互換性があります。

取り付けタイプ

10/100 PS は、工場出荷時での取り付けも現場での取り付けもあります。次のとおりです。

工場出荷時 工場出荷時に取り付けは、内部 10/100 PS オプション組み込みの新しい Zebra プリンタ向けです。

現場 現場で取り付けは、デバイスが取り付けられていない現場にある 10/100 PS Zebra プリンタ向けです。10/100 PS オプションは、既存のプリンタに取り付けられます。次のとおりです。

- **外部 10/100 PS** — プリンタ・パラレル・ポートに接続
- **内蔵 10/100 PS** — 適合する Zebra プリンタの場合、このオプションは直接、メイン・ロジック・ボードに接続します



注意・上記の取り付け作業は必ず、有資格サービス技術者が行ってください。

外部 10/100 PS 仕様

一般的な仕様			
ネットワーク接続		イーサネット 10BASE-T/100BASE-T UTP RJ-45 接続 半二重 / 全二重通信モード	
プリンタ接続		双方向、IEEE-1284 Centronics パラレル・ポート (互換、ニブル、ECP)	
ユーザー・インターフェイス		LED アクティビティ・インジケータ : <ul style="list-style-type: none"> • 2 色表示の動作状態 • 2 色の表示の速度 / ネットワーク・アクティビティ 	
高さ (外寸)		1.2 インチ	30.48 mm
幅 (外寸)		2.8 インチ	71.12 mm
長さ (外寸)		3.2 インチ	81.28 mm
重さ		2.7 オンス	77 g
電源		最大 450mA/5.25VDC 電源供給元はプリンタ (Centronics pin 18、5VDC/450mA)	
温度	動作	32° ~ 104°F	0° ~ 40 °C
	保管	-40° ~ 140°F	-40° ~ 60 °C
相対湿度	動作	20 ~ 85% (結露なきこと)	
	保管	5 ~ 85% (結露なきこと)	
機関による認証		機関による認証 <ul style="list-style-type: none"> • IEC 60950 • EN 55022、クラス B • EN 55024 • AS/NZS3548 機関認定マーク <ul style="list-style-type: none"> • FCC - B • ICES-003 • VCCI • C-Tick 	



取り付け

この章では、10/100 PS の取り付け方法について説明します。

目次

外部 10/100 PS	22
始める前に	22
図	23
取り付け手順	24
内蔵 10/100 PS	26

外部 10/100 PS

このセクションでは、外部 10/100 PS の図解を使用し、取り付けに必要な手順を説明します。互換性のあるプリンタの一覧については、15 ページの「ハードウェア」を参照してください。

始める前に



重要・本書に記載されているすべての機能を有効に活用するため、ファームウェア X.14 以降をダウンロードしてください。



注記・ファームウェア X.14 以降をサポートしないプリンタもありますので、ご注意ください。そうしたプリンタでは、このプリント・サーバの機能は制限されます。

ご使用のプリンタ・ファームウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. ご使用のプリンタにファームウェア x.12 がインストールされている場合は、プリンタ・ファームウェアのバージョンを 14.x 以降にアップグレードする必要があります。
2. ファームウェアをアップグレードするには、Zebra Web サイトにアクセスしてください。

www.zebra.com/firmware

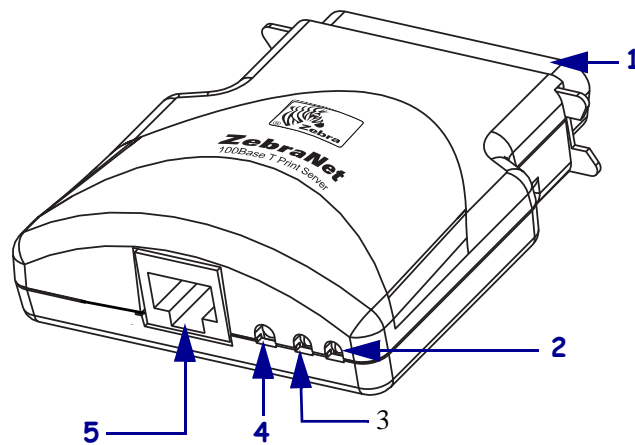
3. アップグレードが正常に行われたことを確認してください。

状態 ...	必要な手順 ...
プリンタに LCD が搭載されている	右下隅を見て、プリンタにインストールされているファームウェアのバージョンを確認します。
プリンタに LCD が搭載されていない	設定ラベルを印刷して、プリンタにインストールされているファームウェアのバージョンを確認します。



図 3 に外部 10/100 PS を示します。必要に応じて、インストールの手順を進めていく間、この図に戻って参照してください。

図 3 • 外部 10/100 PS



1	パラレル・コネクタ
2	ネットワーク・ステータス LED
3	10/100 PS ステータス LED
4	テスト・ボタン
5	イーサネット・コネクタ

ステータス・インジケータの詳細については、103 ページの「10/100 PS ネットワーク・ステータス/アクティビティ・インジケータ」を参照してください。

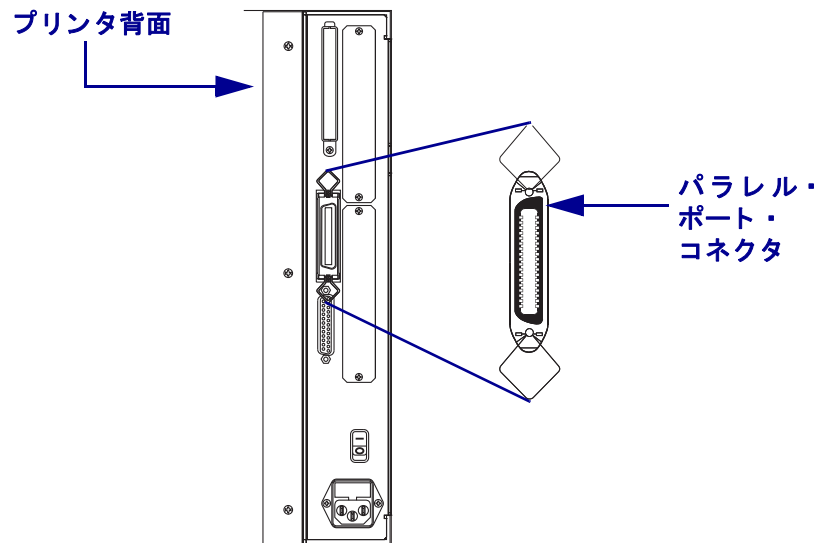
取り付け手順

外部 10/100 PS を取り付けるには、次の手順を実行します。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. プリンタの背面で、10/100 PS デバイスをパラレル・ポートに接続します。

図 4 に位置とパラレル・ポートの拡大図を示します。

図 4 • 105SL プリンタの背面



3. ワイヤ・ロックを固定します。
4. 10/100 PS の背面で、アクティブなイーサネット・ケーブルを RJ-45 コネクタ・イーサネット・コネクタに接続します。
5. プリンタをオン (I) にします。

10/100 PS で、電源オン・セルフテスト (POST) が行われます。これには、約 45 秒かかります。POST の間に、10/100 PS ステータス LED (TEST (テスト) ボタンのすぐ下) が赤色になり、点滅を繰り返します。POST が正常に完了し、10/100 PS が完全に初期化されると、10/100 PS ステータス LED は緑色になります。

ステータス・インジケータの詳細については、102 ページの「10/100 PS ステータス・インジケータ」を参照してください。



注記 • 10/100 PS にアクティブなイーサネット・ケーブルが接続されていない場合、LED インジケータは、赤色になり、ゆっくりと点滅を繰り返します。

6. 10/100 PS のステータスを確認するには、10/100 PS の背面にあるテスト・ボタンを押します。

この操作で、10/100 PS の設定ラベルが印刷されます。サンプルのラベルを見るには、25 ページの図 5 を参照してください。

10/100 PS 設定ラベルを印字するには、プリンタに正しい用紙サイズをロードする必要があります。すべてのプリンタで、最小ラベル長は 4 インチ (101.60mm) です。表 1 に、10/100 PS 設定ラベルを各種の DPI 印字ヘッドで印刷する際に必要な最小ラベル幅を示します。

表 1 • ラベル幅

DPI	インチ	mm
600	1.25	31.75
300	2.50	63.50
211	3.69	93.73
150	5.0	127.00

これは、10/100 PS 設定ラベルの例です。

図 5 • 10/100 PS 設定ラベル

TCP/IP	
ENABLED	STATUS
10.3.5.74	ADDRESS
255.255.255.0	SUBNET MASK
10.3.5.1	DEFAULT GATEWAY
Enabled	TIMEOUT CHECKING
NETWARE	
DISABLED	STATUS
	FRAME FORMAT
	MODE
GENERAL	
2279500	SERIAL NUMBER
00074D22C84C	HARDWARE ADDRESS
1.00	FIRMWARE VERSION
ERROR	
None	GENERAL
None	TCP/IP
None	NETWARE
JET ADMIN	
ENABLED	STATUS
PORT CONFIGURATION	
Online	PORT NAME
Enabled	PRINTER STATUS
ZTC 140XiIIPlus-200dpi	BIDIRECTIONAL
None	CONNECTED TO
	ERROR
ZebraNet™ PRINT SERVER CONFIGURATION	
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

内蔵 10/100 PS

内蔵 10/100 PS をインストールするには、接続ソリューション CD にあるインストール手順を参照してください。



プリンタを使用する前に

この章では、最も頻繁に使用する 10/100 PS 機能に関する情報と操作手順について説明します。

目次

始める前に.....	28
デフォルトのユーザー ID とパスワード	28
設定ラベルの印刷	28
IP アドレスの割り当て	30
動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 使用	30
DHCP なし.....	30
DHCP による IP アドレスの割り当て	31
ZebraNet Bridge を使用した IP アドレスの割り当て	31
プリンタ LCD からの IP アドレスの割り当て.....	31
Telnet セッションを介した IP アドレスの割り当て	32
アラートの設定と監視.....	34
ZebraLink アラート	34
ZebraNet Bridge の使用.....	36
WebView の使用	36
10/100 PS Configuration Settings (構成の設定) の確認.....	39
ZebraNet Bridge の使用.....	39
WebView の使用	39
プロトコルの有効化.....	43
WebView の使用	43
10/100 PS のデフォルト設定	46
WebView の使用	46
ZebraNet Bridge の使用.....	47
テスト・ボタンの使用.....	47

始める前に

10/100 PS には多くの機能が搭載されていますが、アクセス方法や操作方法はご使用の環境によって異なります。

デフォルトのユーザー ID とパスワード

この文書に記載されている手続きでは、デフォルトのユーザー ID および (または) デフォルトのパスワードを必要とする機能がいくつかあります。ユーザー ID やパスワードを要求された場合、以下がデフォルトです。

- ユーザー ID: admin
- パスワード : 1234

設定ラベルの印刷

印刷を始める前に、10/100 PS 設定ラベルから情報を入手する必要があります。



重要・プリンタの電源がオフ (O) になっていることを確認します。

10/100 PS 設定ラベルを印字するには、プリンタに正しい用紙サイズをロードする必要があります。用紙サイズに関する特定の情報については、[25 ページの表 1](#) を参照してください。

10/100 PS 設定ラベルを印刷するには、次の手順を実行します。

1. プリンタの電源をオン (I) にして、パワーアップ・サイクルが完了するまで待ちます。
2. POST サイクルが完了したら、TEST (テスト) ボタンを数秒間押し続けてから放します。

10/100 PS 設定ラベルを印刷します。印刷された設定ラベルは [29 ページの図 6](#) のようになります。

図 6 • 10/100 PS 設定ラベル

TCP/IP	
ENABLED	STATUS
10.3.5.74	ADDRESS
255.255.255.0	SUBNET MASK
10.3.5.1	DEFAULT GATEWAY
Enabled	TIMEOUT CHECKING
NETWARE	
DISABLED	STATUS
	FRAME FORMAT
	MODE
GENERAL	
2279500	SERIAL NUMBER
00074D22C84C	HARDWARE ADDRESS
1.00	FIRMWARE VERSION
ERROR	
None	GENERAL
None	TCP/IP
None	NETWARE
JET ADMIN	
ENABLED	STATUS
PORT CONFIGURATION	
Online	PORT NAME
Enabled	PRINTER STATUS
ZTC 140XiIIPlus-200dpi	BIDIRECTIONAL
None	CONNECTED TO
	ERROR
ZebraNet™ PRINT SERVER CONFIGURATION	
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

3. 設定ラベルから、以下の数値を探す必要があります。
 - アドレス (IP アドレス)
 - サブネット・マスク
 - デフォルト・ゲートウェイ
 - シリアル・バンゴウ
 - ハードウェア・アドレス (MAC アドレス)
4. ご使用の 10/100 PS デバイスに印刷する設定ラベルで、前述の設定を丸で囲みます。これで、30 ページの「IP アドレスの割り当て」に進めます。

IP アドレスの割り当て

10/100 PS の作業を開始する前に、10/100 PS デバイスの IP アドレスを取得または割り当てる必要があります。

IP アドレスを割り当てるには、次の 4 つの方法があります。

- ZebraNet Bridge
- DHCP
- プリンタ LCD
- Telnet



重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、[28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」](#)を参照してください。

動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 使用

ネットワークで DHCP を使用している場合、10/100 PS デバイスは一時的な IP アドレスを割り当てられます。



注記・ネットワークで DHCP が使用されているかどうかについて、ネットワーク管理者に確かめてください。

DHCP なし

ネットワークでダイナミック IP アドレス方式 (DHCP など) を使用しない場合は、10/100 PS デバイスにパーマネント IP アドレスを設定する必要があります。IP アドレスの設定に ZebraNet Bridge を使用することがあります。

DHCP による IP アドレスの割り当て

ZebraNet Bridge を使用した IP アドレスの割り当て

IP アドレスの設定に ZebraNet Bridge を使用することがあります。詳細な情報については、『ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド』を参照してください。

プリンタ LCD からの IP アドレスの割り当て

以下の手順は、すべてのプリンタで使用できます。ただし、液晶ディスプレイ (LCD) 手順は、コントロール・パネル (別名 LCD) 付きプリンタが対象です。

プリンタ LCD から IP アドレスを割り当てるには、次の手順を実行します。



重要・ご使用の 10/100 PS には、ファームウェア 1.xx.x 以降が必要です。また、Zebra プリンタには、LCD とともにファームウェア x.10 以降が必要です。

1. プリンタの電源をオン (I) にし、LCD に「プリンタ_レディ」と表示されるまで待ちます。
2. 特定の 10/100 PS メニューオプションについては [98 ページの「LCD 上の有線ネットワーク・パラメータ」](#)、プリンタ操作の特定の手順についてはプリンタのユーザー・ガイドを参照してください。
3. ご使用のネットワーク環境にある 10/100 PS と通信するため、以下のネットワークの設定を編集することがあります。



重要・以下の設定のいずれかを変更するには、プリンタ・パスワードを入力する必要があります。デフォルトのパスワードは 1234 です。

- `ip resolution` (ダイナミック、パーマネント) IP アドレスをコントロール・パネルから割り当てる場合は、プリンタ・メニュー項目 **IP RESOLUTION** を **PERMANENT** に設定してください。
- `default gateway` (デフォルト設定 000.000.000.000)
- `subnet mask` (デフォルト設定 255.0.0.0)
- `ip address` (初期デフォルト設定が 0.0.0.0 の場合は、2 分後に **192.168.254.254** にデフォルト設定されます)
- `ip protocol` (収集のみ、RARP、BOOTP、DHCP、DHCP および BOOTP、すべて)

Telnet セッションを介した IP アドレスの割り当て

Telnet セッションで IP アドレスを割り当てる際に使用する方法は、スタティック・ルートと収集です。



重要・この方法は、Zebra プリンタをネットワーク化しているすべての TCP/IP 対応のワークステーション / ホストに適用します。ワークステーション / ホストおよび 10/100 PS のいずれも、同じネットワーク・セグメントになければなりません。

10/100 PS に Telnet して設定する前に、まず、10/100 PS を一時的な IP アドレスに割り当てる必要があります。

スタティック・ルート

この方法を使用するには、次の手順を実行します。

1. プリンタの電源をオン (I) にしてから、デバイスで自己診断が行われるまで 2 分間待ちます。

この間に、10/100 PS はアドレス・ブロードキャストを実行します。(DHCP または BootP を介して) ユニットにアドレスが割り当てられない場合は、デフォルトのアドレスが使用されます。10/100 PS に対するデフォルトのアドレスは **192.168.254.254** です。10/100 PS の設定ラベルを印刷して、アドレスを確認します。詳細については、[28 ページの「始める前に」](#)を参照してください。

2. route add コマンドを使用して、デフォルトの IP アドレスをワークステーションのネットワーク・ルーティング・テーブルに入れることができます。
3. ワークステーション / ホスト・コマンド・プロンプトで (Windows では DOS プロンプトで)、以下を入力します。

```
route add **** "IP address of the workstation" 0
```

ここで、**** は、10/100 PS 設定ラベル上の IP アドレスです。



注記・一部のシステムでは、“route add” コマンドの終わりにあるゼロ (0) はオプションです。

4. 以下を入力して、10/100 PS に Telnet します。

```
"Telnet xxx.xxx.xxx.xxx"
```

パスワードは 1234 です。

5. ここで、設定を任意に変更できます。完了したら、リセットを行い、通信アクティビティに進む前に 10/100 PS の自己診断テストが完了するまで待ちます。

収集

10/100 PS が、ハードウェア・アドレスに送信される最初の ping パケットの IP アドレスを使用する方法。



注記・収集は、ルータのローカル・サブネットでのみ機能します。アドレス・レゾリューション・プロトコル (ARP) ブロードキャストは渡しません。

この方法を使用するには、次の手順を実行します。

1. IP アドレスをイーサネット (ハードウェア) アドレスに割り当てる ARP テーブルにエントリーを追加します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
arp -s <temporary ip address> <MAC Address>
```



例・以下を入力します :arp -s 10.3.50.59 00-07-4d-1D-B9-86

2. プリンタの電源を入れ直します。
3. プリンタが再起動したら、以前に割り当てたアドレスに連続 ping を開始します。



注記・ほとんどの UNIX システムでは、連続 ping を使用します。

Windows ホストから連続 ping を使用するには、次のコマンドを発行する必要があります。

```
ping -t "ipaddress"
```

4. 10/100 PS が応答を開始したら、ping のアクティビティを停止します。
Windows では、Ctrl + C で ping を停止します。
5. 10/100 PS に Telnet し、適切な IP アドレス、サブネット・マスクおよびゲートウェイを割り当てます (該当する場合)。
6. 以上が完了したら、10/100 PS をリセットします。

10/100 PS のリセットの詳細については、[85 ページの「リセット」](#)を参照してください。

アラートの設定と監視

アラートを確立する際には、10/100 PS とプリンタの関係を把握することが重要です。知っておく必要がある関係を以下に示します。

- 非 ZebraLink 対応プリンタ — IEEE 1284 プロトコルで報告される特定のプリンタ・エラー・セットに関するアラートのみを送信できます。
- ZebraLink 対応プリンタ — ZebraLink で、プリンタは IEEE 1284 プロトコル以外のアラートも送信できます。

ZebraLink アラート

ZebraLink アラートにより、プリンタ・エラーや警告状態がただちにシステム管理者に通知されるため、ご使用の Zebra プリンタを管理できるようになり、その結果プリンタのダウン時間が減り、アプリケーション効率が向上します。ウェブベースの設定ツールを使用して、選択したエラーや警告状態を電子メール・メッセージ、ワイヤレス・ページャー、ZebraLink アラートなど、さまざまな出力先にルーティングすることができます。

35 ページの表 2 に、アラートをトリガーできる条件と考えられる出力先を示します。

表 2 • ZebraLink アラートと出力先

アラート・タイプ	エラー状態
10/100 PS アラート	<ul style="list-style-type: none"> • オンライン (条件クリア) • オフライン • 用紙切れ • プリンタ・エラー
ZebraLink アラート	<ul style="list-style-type: none"> • 用紙排出 • リボン切れ • 印字ヘッド過剰高温警告 • 印字ヘッド過剰低温警告 • ヘッド・オープン • 電源装置過剰高温 • リボン警告 (ダイレクトサーマル・モードで) • 巻き取りがフル • 切り取りエラー • プリンタ・ポーズ • PQ ジョブ完了 • ラベル剥離 • ヘッド・エレメント切れ • ZBI (Zebra BASIC Interpreter) ランタイム・エラー • ZBI (Zebra BASIC Interpreter) 強制エラー • 印字ヘッドのクリーニング • 用紙不足 • リボン不足 • ヘッドの交換 • バッテリー不足 • RFID エラー • すべてのエラー (RFID プリンタでのみ) • すべてのエラー (非 RFID プリンタでのみ) • 電源オン
ZebraLink アラート 出力先	<p>非送信請求アラート・メッセージは、以下の出力先に配信できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電子メール (10/100 PS 固有) • TCP (10/100 PS 固有) • UDP (10/100 PS 固有) • SNMP (10/100 PS 固有) • シリアル * • パラレル * • USB *

* ZebraNet Bridge で有効

ZebraNet Bridge の使用

アラートの設定および監視に ZebraNet Bridge を使用することがあります。詳細な情報については、『ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド』を参照してください。

WebView の使用

このセクションでは、ZebraLink™ WebView を使用してアラートの設定手順を段階を追って説明します。

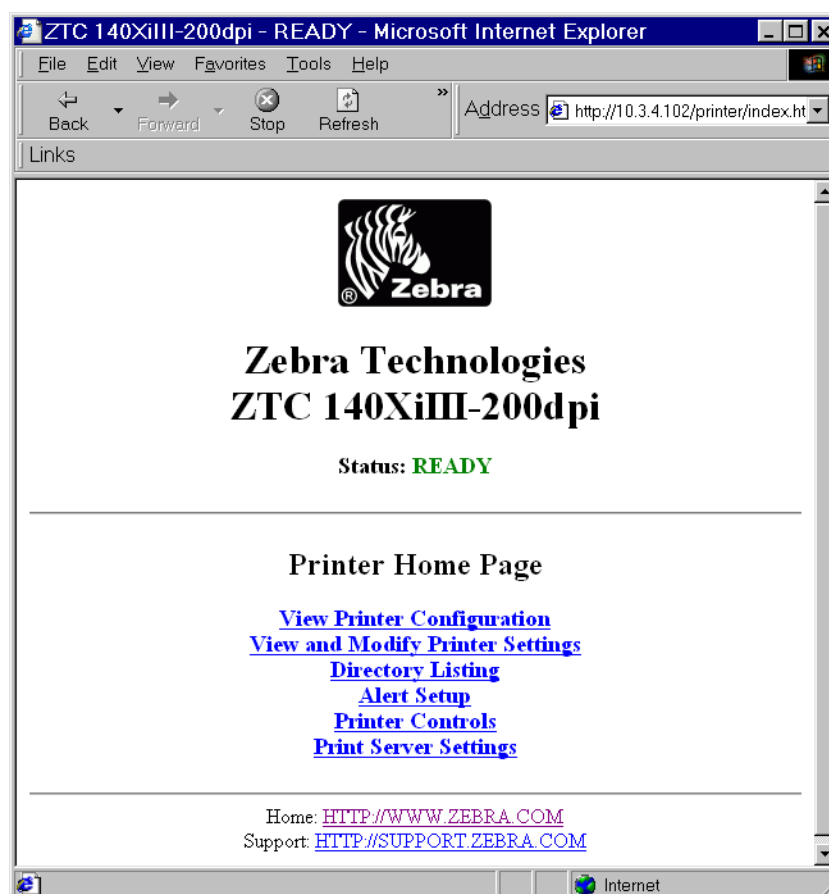


重要・ご使用のプリンタが ZebraLink 対応でない場合、ここで説明する手順は使用できません。

エラー通知の受信を開始するには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを開きます。
2. Address (アドレス) テキストボックスで、プリンタの IP アドレスを入力します。
プリンタのホーム・ページが開きます。

図 7・プリンタのホーム・ページ



3. プリンタのホーム・ページから、Alert Setup (アラートのセットアップ) をクリックします。

アラートのセットアップ・ページに、メッセージ通知およびそれぞれの宛先 (通知がリストされない場合) のリストが表示されます。

4. 通知をセットアップするには、アラートのセットアップ・ページに進み、Add Alert Message (アラート・メッセージを追加します) をクリックします。



重要・プリンタは、直前の設定のみを受け入れます。

Add Alert Message (アラート・メッセージを追加します) ページが開きます。

図 8・アラートの追加

The screenshot shows a web browser window titled "ZTC 140XiIII-200dpi - Add Alert Me...". The browser's address bar is empty. The page content includes the Zebra Technologies logo and the printer model "ZTC 140XiIII-200dpi". Below this is a "Home" link. The main section is titled "Add Alert Message" and contains the following fields and controls:

- Condition: A dropdown menu with "PAPER OUT" selected.
- Destination: A dropdown menu with "SERIAL" selected.
- SET: A dropdown menu with "YES" selected.
- CLR: A dropdown menu with "YES" selected.
- Address: An empty text input field.
- Port: An empty text input field.
- An "Add Alert Message" button.
- A "Password" field with an empty text input.
- An "Alert Setup" link.
- Footer text: "Home: [HTTP://WWW.ZEBRA.COM](http://www.zebra.com)" and "Support: [HTTP://SUPPORT.ZEBRA.COM](http://support.zebra.com)".

5. **HEAD ELEMENT BAD** (ヘッドエレメント _ フリ ヨウ)、**PAPER OUT** (ヨウシ ギレ) など、送信する条件を指定します。
6. 宛先を設定します。
7. **SET** (設定) ドロップダウン・ボックスで、**YES** (はい) を選択します。
指定した特定の条件が検出されると、通知されます。

8. 特定の条件がクリアされたときに通知を受信する場合は、CLR (クリア) ドロップダウン・ボックスで、YES (はい) を選択します。
9. 宛先に電子メールを選択した場合は、メッセージの送信先に有効な電子メール・アドレスを入力します。

電子メール・アラートを受信するには、ご使用の 10/100 PS に SMTP を実行しているメール・サーバの IP アドレスを指定する必要があります。詳細は、[74 ページの「ステータスと設定」](#)を参照してください。

10. 宛先に TCP または UDP を選択した場合は、ポート番号を入力します。



重要・パスワードの入力を求められます。パスワードを入力しなかった場合には、設定したアラートは削除されます。

11. Add Alert Message (アラート・メッセージを追加します) をクリックします。
12. 現在の設定を保存するには、Save Printer Setting (プリンタ設定の保存) をクリックします。
13. パスワードを入力して、Save Current Configuration (現在の構成の保存) をクリックします。

10/100 PS Configuration Settings (構成の設定) の確認

このセクションでは、ZebraNet Bridge とブラウザを使用して 10/100 PS 構成の設定を確認する方法の手順を説明します。

ZebraNet Bridge の使用

10/100 PS 構成の設定を確認するために ZebraNet Bridge を使用することがあります。詳細な情報については、『ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド』を参照してください。

WebView の使用

このセクションでは、Web ページを使用して 10/100 PS 構成の設定を確認する方法の手順を説明します。

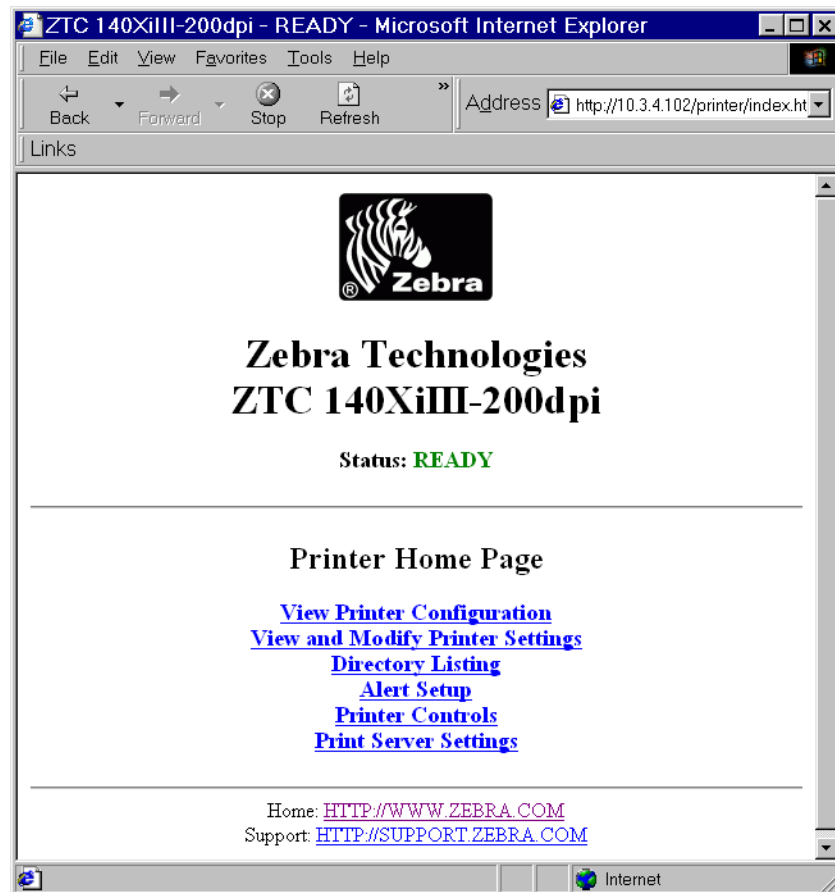
10/100 PS 設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを開きます。

2. Address (アドレス) テキストボックスで、ご使用のプリンタの IP アドレスを入力してから、Enter キーを押します。

表示されるブラウザ・ページは、図 9 のようになります。

図 9・ブラウザ表示



注記・このページの表示は、プリンタ・ファームウェアによって異なります。このページは、ファームウェア x.15 以降のもので。

3. プリンタのホーム・ページから、Print Server Settings (プリント・サーバ設定) をクリックします。

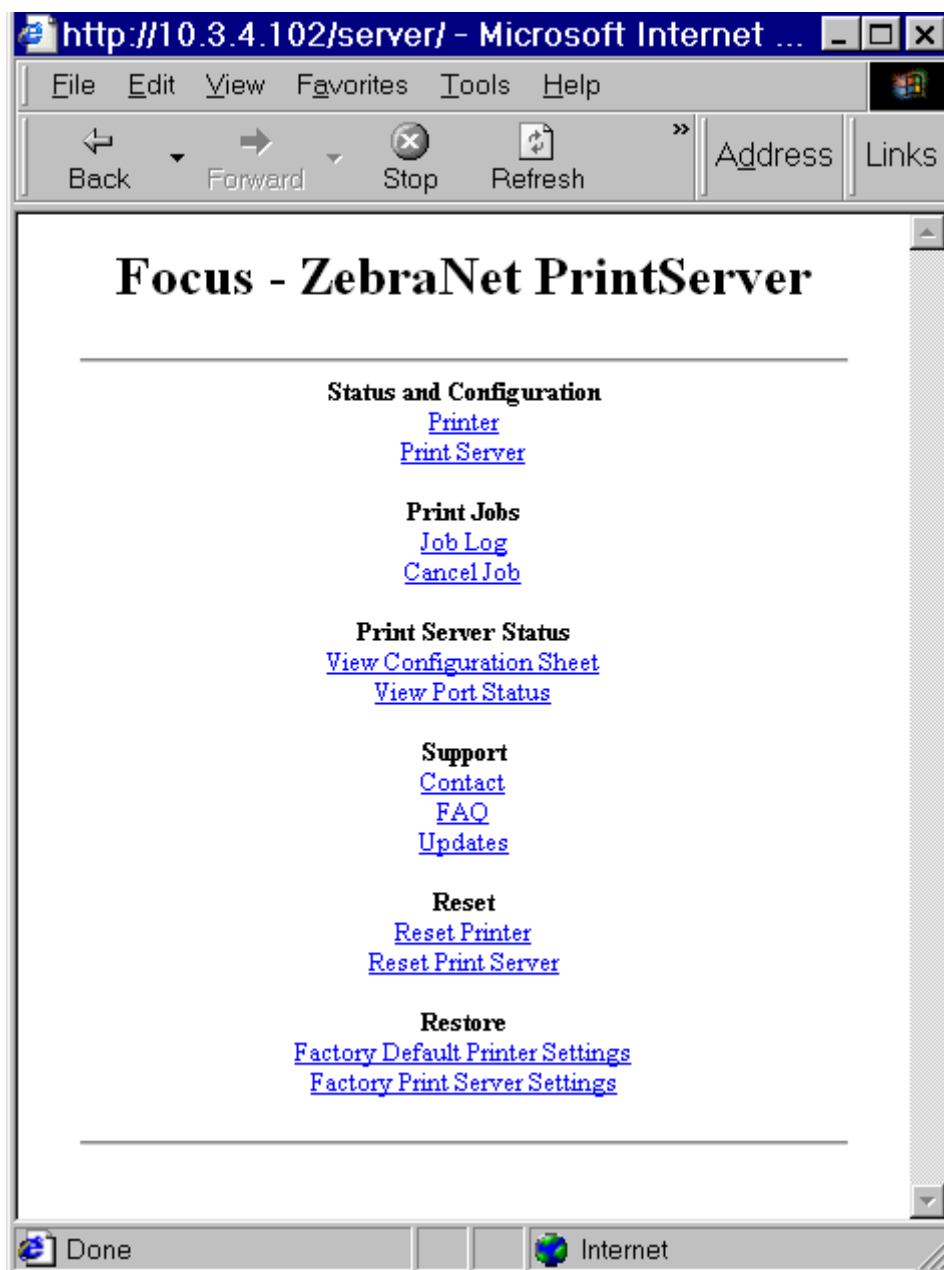
デフォルトのユーザー ID とパスワードの入力を求められます。



重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」を参照してください。

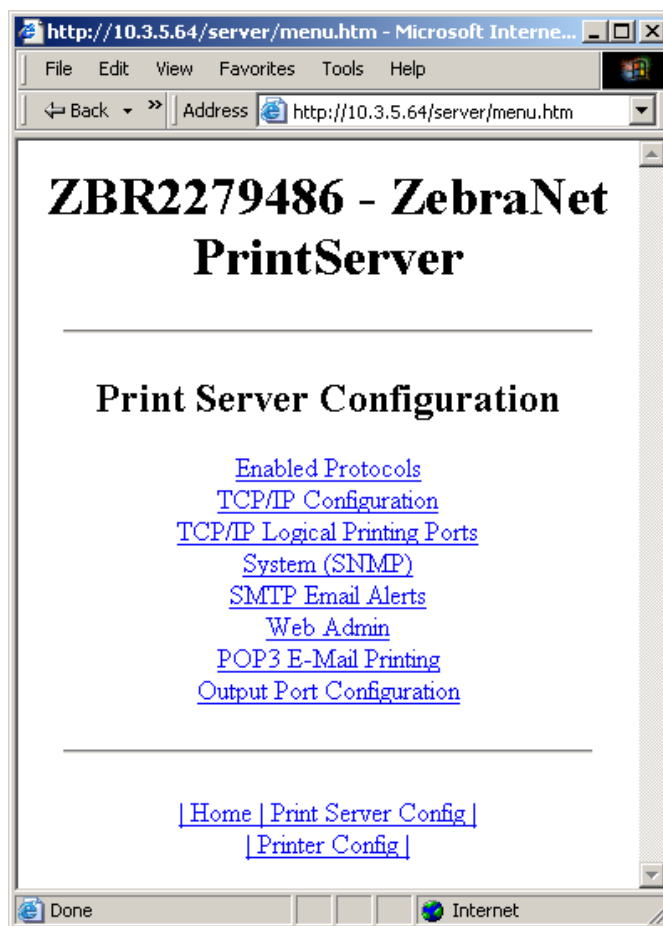
プリント・サーバ設定ページが開きます。

図 10・プリント・サーバ設定ページ



4. プリント・サーバ・ページから、Print Server (プリント・サーバ) をクリックします。
プリント・サーバ構成ページが開きます。

図 11・アクセス設定



プロトコルの有効化

このセクションでは、WebView を使用してプロトコルにアクセスする手順を説明します。

WebView の使用

WebView を使用してプロトコルを有効にするには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを開きます。
2. Address (アドレス) テキストボックスで、ご使用のプリンタの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。

表示されるブラウザ・ページは、図 12 のようになります。

図 12・アドレス・テキストボックス



3. プリンタのホーム・ページから、Print Server Settings (プリント・サーバ設定) をクリックします。

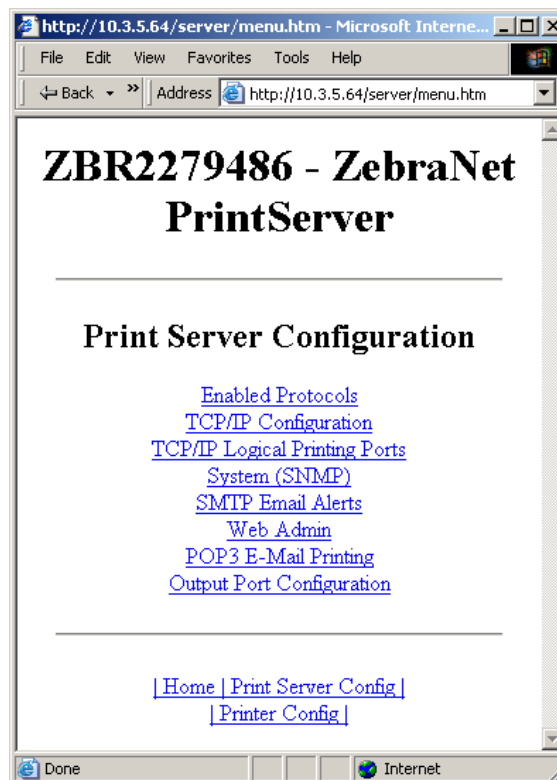
デフォルトのユーザー ID とパスワードの入力を求められます。



重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」を参照してください。

4. プリント・サーバ・ページから、Print Server (プリント・サーバ) をクリックします。
プリント・サーバ構成ページが開きます。

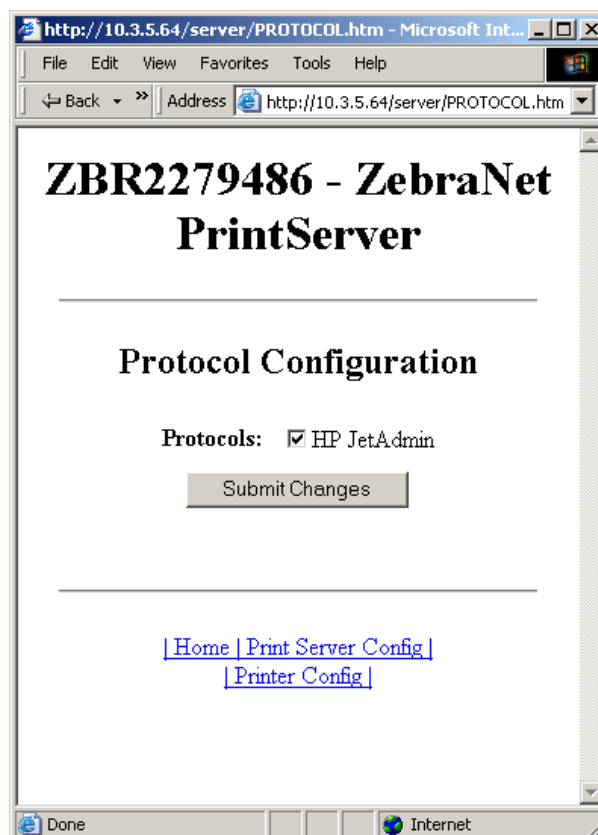
図 13・プリント・サーバ構成



5. プリント・サーバ構成ページから、Enabled Protocols (有効なプロトコル) をクリックします。

プロトコル構成ページが開きます。

図 14・プロトコル構成



6. 有効にするプロトコルを選択し、Submit Changes (変更の通知) をクリックします。
ユニットをリセットして変更を実行することの確認が求められます。

10/100 PS のデフォルト設定

このセクションでは、WebView、ZebraNet Bridge および Test (テスト) ボタンを使用して 10/100 PS を工場出荷時設定にデフォルト設定する手順について説明します。

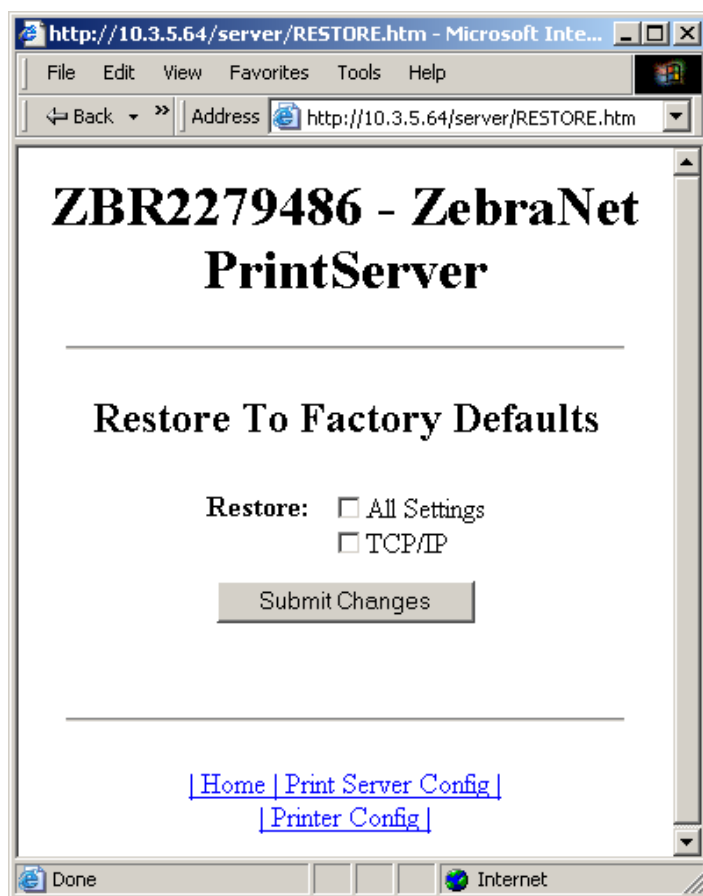
WebView の使用

WebView を使用して 10/100 PS を工場出荷時設定にデフォルト設定するには、次の手順を実行します。

1. ZebraNet PrintServer 表示から、Factory Print Server Settings (プリント・サーバの工場出荷時設定) をクリックします。

工場出荷時のデフォルトに戻すページが開きます。

図 15・工場出荷時のデフォルトに戻す



2. リセットする設定のチェックボックスを有効にして、Submit Changes (変更の通知) をクリックします。



重要・リセットの設定の間、Web ページは使用できません。完了したら、10/100 PS IP アドレスを確認します (リセットの設定の間に変更されていることもあるため)。

ZebraNet Bridge の使用

10/100 PS を工場出荷時設定にデフォルト設定するために ZebraNet Bridge を使用する場合があります。詳細な情報については、『ZebraNet Bridge Enterprise ユーザー・ガイド』を参照してください。

テスト・ボタンの使用

Test (テスト) ボタンを使用して 10/100 PS を工場出荷時設定にデフォルト設定するには、次の手順を実行します。

Test (テスト) ボタンには、外付けの 10/100 PS デバイスの背面にある小さなはめ込み孔を介してアクセスします (23 ページの図 3 参照)。内蔵型 10/100 PS デバイスの場合、Test (テスト) ボタンはプリンタの背面にあります。Test (テスト) ボタンを押すには、この孔にクリップの先のような細いものを挿入してください。



注記・Test (テスト) ボタンを使用してデバイスをデフォルト設定するには、10/100 PS デバイスにアクティブなネットワーク・ケーブルを接続しておく必要があります。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. プリンタをオフ (I) にした状態で、10/100 PS デバイス上の Test (テスト) ボタンを押し続けて、プリンタをオンにします。
3. 10/100 PS が工場出荷時のデフォルトにリセットされると、ステータス・インジケータでわかります。
 - 10/100 PS にアクティブなネットワーク・ケーブルが接続されている場合は、ステータス・インジケータが緑色の持続点灯状態になります。この状態になったら、Test (テスト) ボタンを放してかまいません。
 - 10/100 PS にアクティブなネットワーク・ケーブルが接続されていない場合は、赤色で点滅します。この状態になったら、Test (テスト) ボタンを放してかまいません。
 - ステータス・インジケータの詳細については、103 ページの「10/100 PS ネットワーク・ステータス/アクティビティ・インジケータ」を参照してください。



メモ • _____



プリント設定

この章では、BSD または System V キューで使えるようにプリンタを設定する手順について説明します。

目次

BSD (Berkeley Software Distribution) スタイル・プリント・キュー	50
プリント・キューの設定	50
System V キューのインストール	51
ZebraNet 印刷向けの Operating System V キューの設定	51
前提条件	51
UNIX の設定	52

BSD (Berkeley Software Distribution) スタイル・プリント・キュー

BSD は、TCP/IP 機能を持つ、ソフトウェアを配信する UNIX OS バージョンです。

プリント・キューの設定

リモート BSD スタイル LPD 印刷を行う場合は、10/100 PS を /etc/printcap データベースにあるリモート・プリンタとして 10/100 PS の各ホスト印刷に追加します。必要に応じて、プリントキャップ・オプションを追加できます。これらのオプションについてよくわからない場合は、プリンタのマニュアルを参照してください。



重要・root としてログインする必要があります。

エントリは、次のようになります。

```
local_print_queue_name|[printer_model_and_manufacturer]:\  
  
:lp=:mx#0:rm=ZebraNet_name:\  
  
:rp=remote_print_queue_name:\  
  
:sd=path_to_spool_directory:lf=just log_file_name
```

local_print_queue_name — プリントキャップ・エントリの名前を定義します。LPR/LPD ユーティリティが、参照しているプリントキャップ・エントリを指定するのに使用されます。さまざまなキュー・タイプに対して必要に応じて、別のプリントキャップ・エントリも追加できます。正しく機能するには、各エントリに一意の **local_print_queue_name** と、それぞれ別のスプール・ディレクトリを指定する必要があります。印刷の準備ができたなら、印刷するファイルのデータ型と一致する **local_print_queue_name** を使用します。

ZebraNet_name — ZebraNet 10/100 PS の名前 (別名) です。/etc/ ホスト・ファイルまたはご使用の NIS または DNS システムで入力したものと同一名前であればなりません。ここで、IP アドレスを使用することもあります。

remote_print_queue_name — プリント・ジョブを印刷する ZebraNet ポートを特定します。また、オプションとして、LF1 で終わる ASCII 印刷を指定します。

path_to_spool_directory — このキューに対してプリント・ジョブをスプールするディレクトリへのパスです。プリントキャップ・エントリごとに一意のスプール・ディレクトリを作成する必要があります。

log_file_name — LPD からのエラー情報が記録されるファイルへのパスです。



例・プリントキャップ・エントリは、次のようになります。

```
Ascii_files|form.feed.Queue_on_Port_1:\n\n:lp=:mx#0:rm=pserver1:rp=MYQUEUELF1:\n\n:sd=/usr/spool/myqueueelf1:\n\n:lf=/usr/spool/myqueueelf1/queue.log
```



重要・正しく機能するには、各プリントキャップ・エントリにそれぞれ別のスプール・ディレクトリを指定する必要があります。

System V キューのインストール

ZebraNet 印刷向けの Operating System V キューの設定

このセクションでは、UNIX オペレーティング・システムでの印刷システムの設定について説明します。説明を明確かつ簡潔にするため、以下の特定の名称は一般的なデバイスまたは概念を表す目的で使用します。

lj4 — 10/100 PS プリント・ジョブの出力先である、UNIX システム上のローカル・キュー名。

ZEBRAPRINTER — リモート・システム (10/100 PS デバイス) のホスト名または IP アドレス。たとえば、10/100 PS に telnet して、10/100 PS 設定ユーティリティを起動するには、次のように入力します。

```
Telnet ZEBRAPRINTER
```

10/100 PS の場合、ホスト名は不要です — IP アドレスを使用できます。

yourqueueName — ZebraNet 上のキュー名で、LF1 で終わる必要があります。

前提条件

先に進む前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- 10/100 PS に割り当てられた名前 ZEBRAPRINTER と IP アドレスが UNIX システム上の /etc/hosts ファイルにあること。
- UNIX システム上で LPD が実行していること。

UNIX の設定

ユーザーが、プリント・ジョブを ZebraNet 上にある ZEBRAPRINTER という名前の PCL プリント・キューにスプールできるように UNIX マシンを設定するには、次の手順を実行します。

1. UNIX マシンに root としてログインします。

2. 次を入力します。

```
lpsystem -t bsd ZEBRAPRINTER
```

3. 次を入力します。

```
lpadmin -p lj4 -s ZEBRAPRINTER!yourqueueusername - I any
```

4. 次を入力します。

```
accept lj4
```

5. 次を入力します。

```
enable lj4
```

6. 次のコマンドを入力して印刷を試行します。

```
lp -d lj4 [filename]
```



印刷プロトコルの使用

この章では、ご使用の 10/100 PS で、インターネット (I) 印刷 (P) プロトコル (P) (IPP) およびファイル転送プロトコル (FTP) がサポートされるようにセットアップする手順を説明します。

目次

IPP	54
FTP	55

IPP



重要・システムに IPP サポートをインストールする必要があります。

インターネット印刷プロトコル (IPP) は、インターネット上で配信される印刷に使用されるアプリケーション・レベルのプロトコルです。標準 IPP クライアントから IPP を使用して、ZebraNet 10/100 PS デバイスおよびインターネットに接続されているプリンタにジョブを転送できます。



重要・IPP サポートが使用できない 10/100 PS プリンタもあります。実行中のファームウェアが最新バージョンであることを確認するには、<http://www.zebra.com> にアクセスしてください。

ご使用の 10/100 PS で IPP がサポートされるようにセットアップするには、次の手順を実行します。

1. ブラウザを開きます。
2. 次のように、10/100 PS の IPP URL を入力します。

```
http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/ipp/port1
```

ここで、xxx.xxx.xxx.xxx は 10/100 PS デバイスの IP アドレスです

:631 は 固定値です

/ipp は IPP を指定する固定ストリングです

/port1 は固定値です



例・アドレスは次のようになります。

```
http:198.60.248.120:631/ipp/port1
```

FTP

10/100 PS には、ホスト・コンピュータからプリンタへのファイル転送を処理する FTP サーバ・アプリケーションが組み込まれています。

プリンタがネットワーク上にある場合、ラベル・フォーマットが生成され、データが印刷キューを設定しなくても転送できるようになります。

プリンタに情報を送信するには、次の手順を実行します。

1. コマンド・プロンプトを開き、次を入力します。

```
ftp <IP of 10/100 PS>
```



例・ご使用の 10/100 PS デバイスの IP アドレスが 12.3.4.123 の場合は、次を入力します。

```
ftp 12.3.4.123
```

これで、FTP サーバでセッションが開きます。

2. ユーザー名を入力して、Enter キーを押します。



注記・デフォルトでは、ユーザー名はありません。

3. 次を入力します。

```
put < filename>
```

ここで、filename は ZPL スクリプトの位置とファイル名です。

これで、ファイルがプリンタに転送され、プリンタがラベルを生成します。

4. FFTP セッションを終了するには、次を入力します。

```
quit
```



メモ • _____



ZebraLink WebView

この付録では、10/100 PS を搭載した ZebraLink 対応プリンタの ZebraLink WebView 機能について説明します。

目次

WebView	58
ホーム・ページ	58
プリンタ設定の表示	60
プリンタの設定の表示&変更をします	61
ディレクトリ・リスト	67
プリンタのコントロール	69
プリント・サーバ設定	71
Zebra BASIC Interpreter (ZBI)	71

WebView

WebView を使用すると、システム管理者（またはユーザー）は、印刷環境をワンストップで完全かつ簡単にコントロールできます。Web ブラウザの便利なグラフィック・インターフェイスを使用する、リアルタイムの設定、管理および監視機能を提供します。

Zebra プリンタで戻される Web ページは、静的なものではありません。オンライン・ステータス、エラー状態、すべての印刷パラメータなど、プリンタの現在の動作状態に関するリアルタイム情報があります。

ホーム・ページ



注記・プリンタの Web ページにアクセスするには、IP アドレスが必要です。IP アドレスを取得する手順については、[30 ページの「IP アドレスの割り当て」](#)を参照してください。

ホーム・ページは、最初に関く Web ページです。ハイパーリンク・メニューを表示するページです。各ハイパーリンクを使って、プリンタ、10/100 PS、ネットワークの設定を変更できます。ホーム・ページで変更可能な設定として、以下があります。

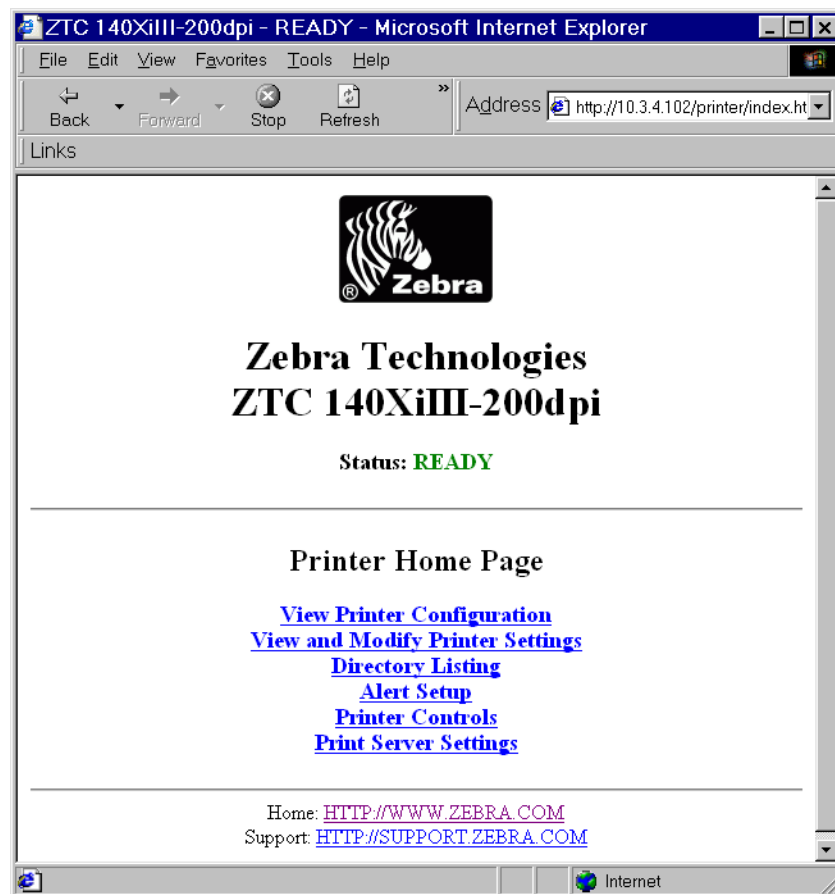
- ネットワーク・ステータス、エラーおよび警告レポート
- ZebraNet 10/100 PS 設定
- プリンタ設定
- フラッシュ・メモリおよび RAM デバイスに格納されたオブジェクトのディレクトリ
- オブジェクト、格納されたフォント、画像、プログラムおよび ZPL II フォーマット
- Zebra Technologies サポートとホーム・ページ

ご使用のプリンタの WebView を開くには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを開きます。
2. Address (アドレス) テキストボックスで、ご使用のプリンタの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。

プリンタのホーム・ページが開きます。

図 16・プリンタのホーム・ページ



プリンタ設定の表示

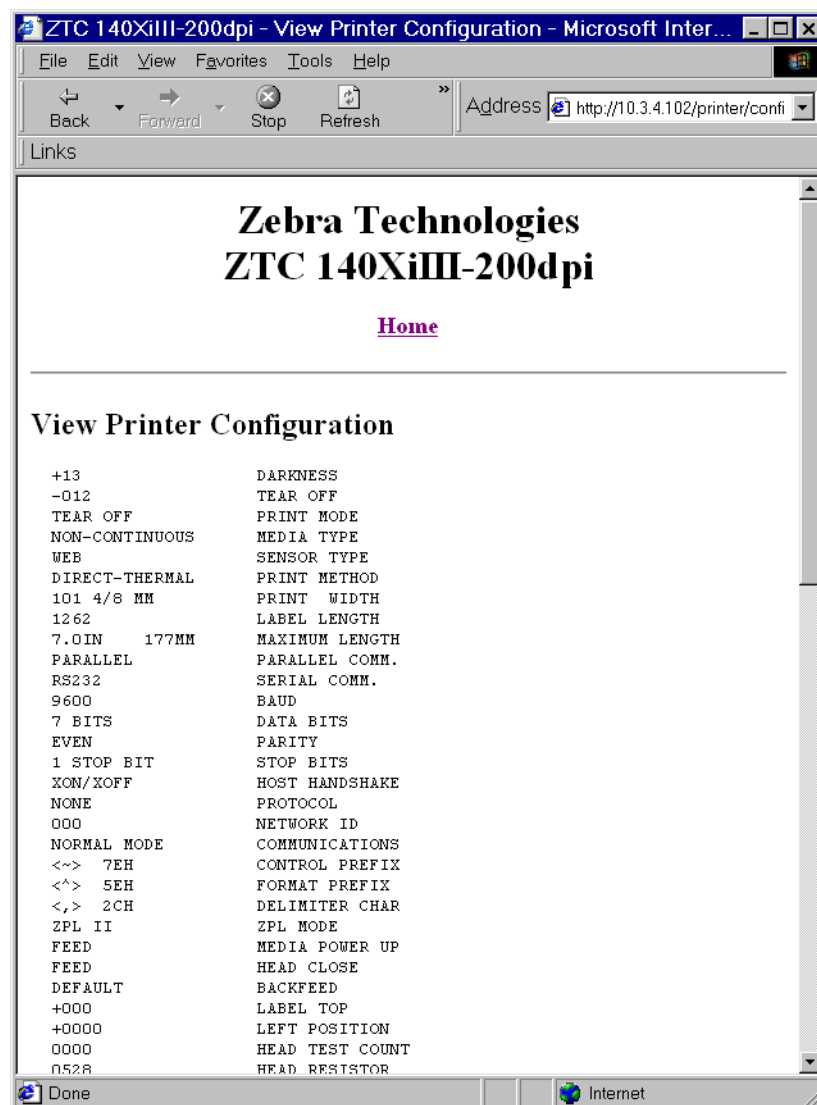
プリンタ設定の表示メニュー・オプションを使用すると、プリンタの現在の状態について、正確かつ最新の情報を確認できます。管理者は、仮想設定ラベルの情報を簡単に調べて、プリンタ・ポートの状態を確認することもできます。

View Printer Configuration (プリンタ設定の表示) メニュー・オプションを表示するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホーム・ページから、View Printer Configuration (プリンタ設定の表示) をクリックします。

WebView は、構成の設定を表示します。

図 17・構成の設定



2. この表示からプリンタ情報を更新するには、Refresh (更新) をクリックします。プリンタは現在の情報を Web ブラウザに送信します。
3. 確認を終了したら、次を行います。

状態 ...	必要な手順 ...
ホーム・ページに戻る	Home (ホーム) リンクをクリックします。
ラベルを印刷する	このページの下部までスクロールして、Print Label (ラベルの印刷) をクリックします。

プリンタの設定の表示&変更をします

このセクションでは、ZebraLink 対応プリンタでプリンタ設定にアクセスして変更する手順を説明します。また、アクセス可能な各種のページについても図解します。

このセクションで行う変更を適用するには、デフォルトのユーザー ID とパスワードの入力が求められます。



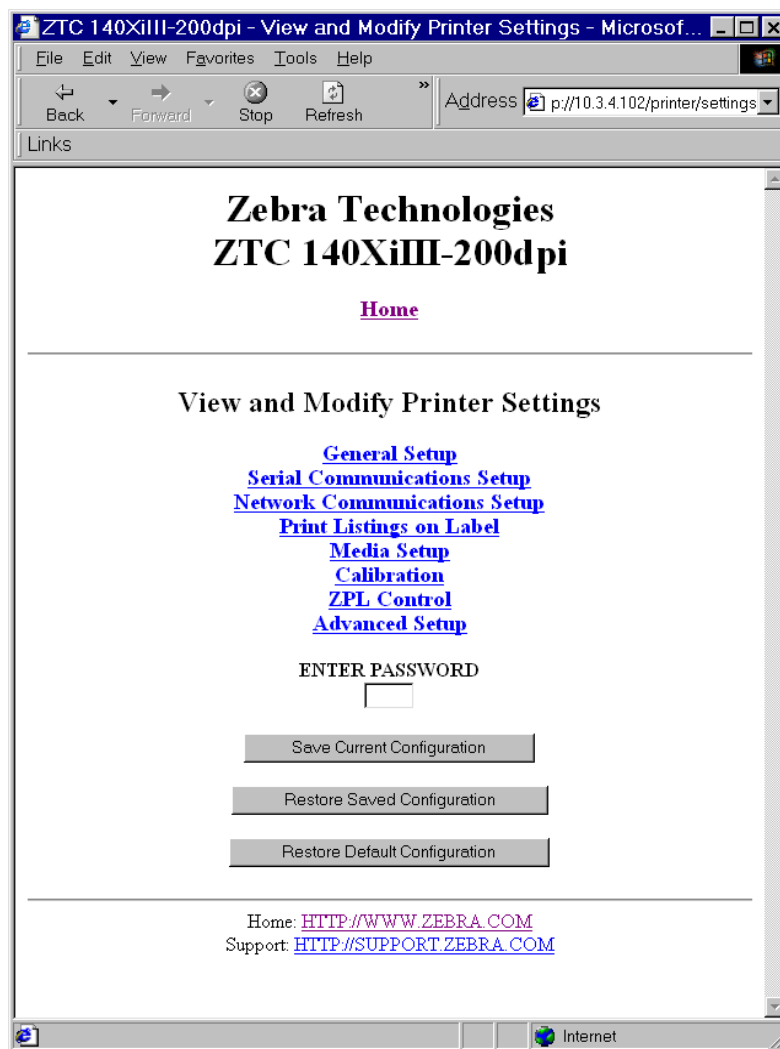
重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、[28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」](#)を参照してください。

プリンタ設定の表示および変更を行うには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホーム・ページから、View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) をクリックします。

View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) ページが開きます。

図 18・プリンタの設定の表示&変更をします



2. View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) ページに、選択項目のメニューがあります。次のセクションでは、各メニュー・オプション・ページの内容を説明します。

表 3・メニュー・オプション

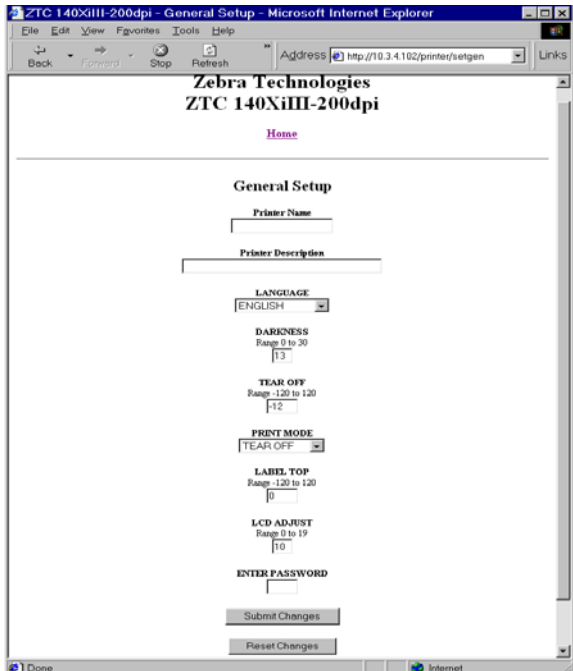
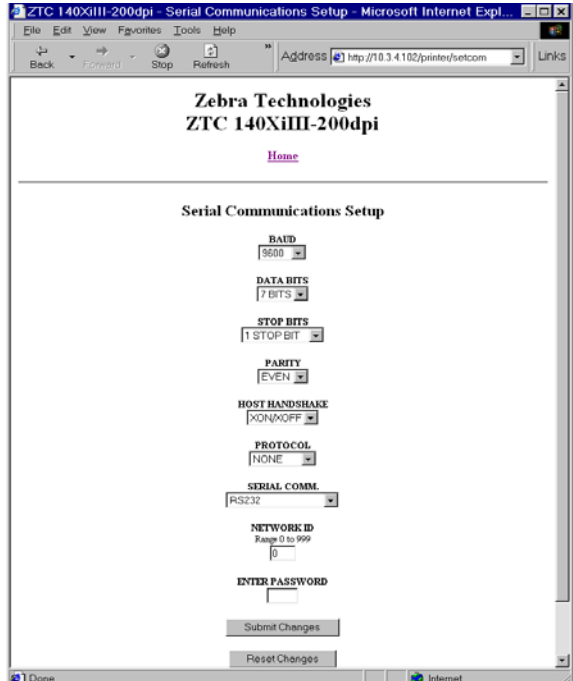
<p>基本設定</p>	
<p>シリアル通信設定</p>	

表 3・メニュー・オプション (続き)

ネットワーク通信設定

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `http://10.3.4.102/server/TCP/IPGEN.htm`. The page title is "Focus - ZebraNet PrintServer". The main content area is titled "TCP/IP Configuration" and contains the following fields and options:

- IP Address:
- IP Address Resolution: (dropdown menu)
- Dynamic Protocols:
 - ☒ RARP
 - ☒ BootP
 - ☒ DHCP
 - ☐ Gleaning
 - ☐ Default Address
- Subnet Mask:
- Default Gateway:
- WINS Server IP Address:
- Connection Timeout Checking: (dropdown menu)
- Timeout Value (secs):
- ARP Broadcast Interval (mins):
- Base Raw Port Number:

At the bottom of the form is a "Submit Changes" button. Below the form, there are two links: [\[Home\]](#) and [\[Printer Config\]](#).

ラベルのリストを出力

The screenshot shows a web browser window with the address bar displaying `http://10.3.4.102/server/PrintListings.htm`. The page title is "Zebra Technologies ZTC 140XiIII-200dpi". The main content area is titled "Print Listings on Label" and contains the following buttons:

- LIST FONTS
- LIST BAR CODES
- LIST IMAGES
- LIST FORMATS
- LIST SETUP
- LIST ALL

At the bottom of the page, there are two links: [Home: HTTP://WWW.ZEBRA.COM](http://www.zebra.com) and [Support: HTTP://SUPPORT.ZEBRA.COM](http://support.zebra.com).

表 3・メニュー・オプション (続き)

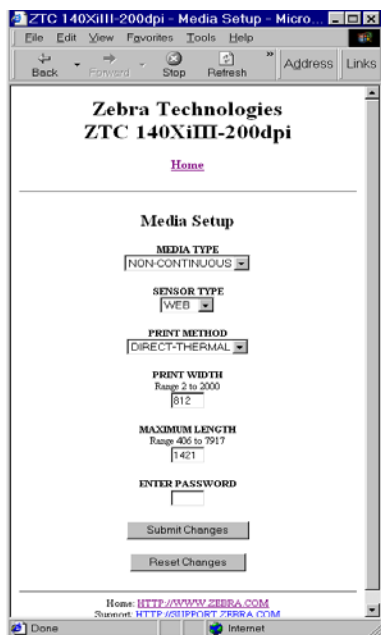
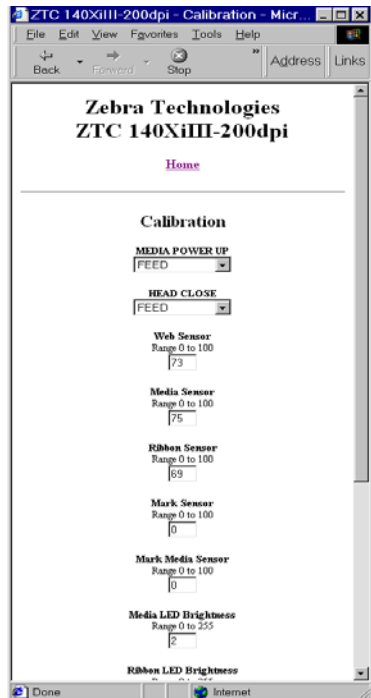
<p>用紙設定</p>	
<p>キャリブレーション</p>	

表 3・メニュー・オプション (続き)

ZPL コントロール	
応用設定	

ディレクトリ・リスト

The directory page provides a listing of all file system devices (B:, E:, R:, Z:). 保存されている各オブジェクトのサイズ、名前および位置が表示されます。

オブジェクトには、ファイル管理操作の実行に使用できるボタンがあります。ファイル管理操作は、次のとおりです。

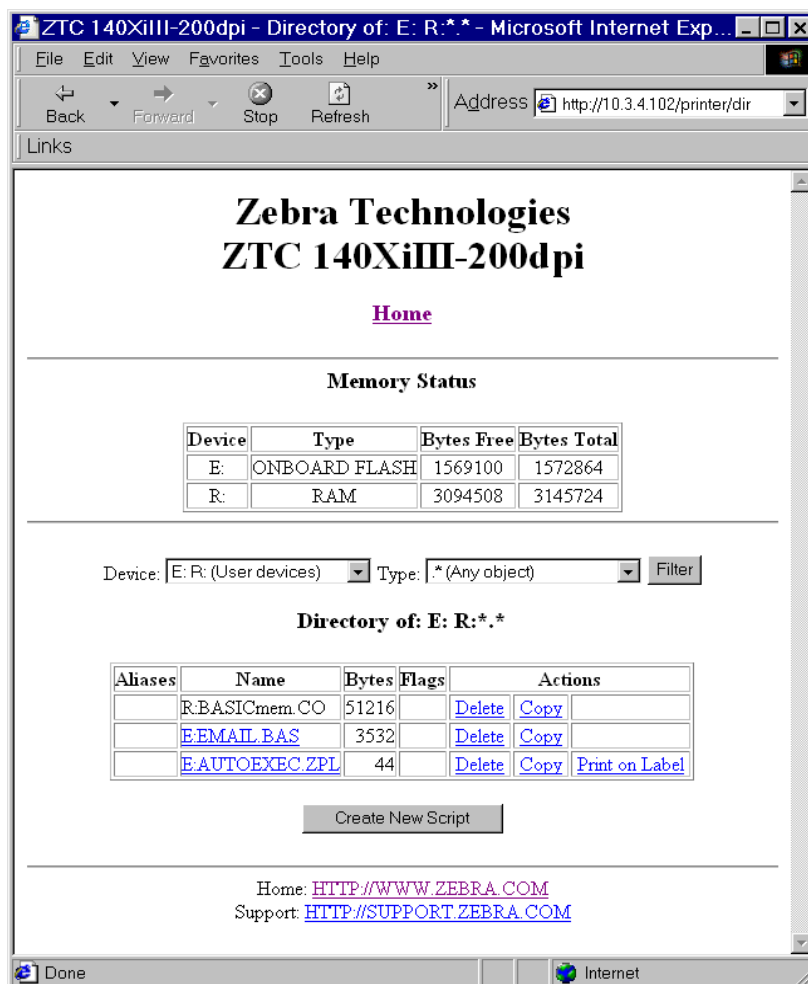
- オブジェクトの削除 — 読み取り専用メモリのオブジェクトには無効 (Z:).
- オブジェクトを新規の名前および (または) デバイスにコピー — 読み取り専用メモリのオブジェクトには無効 (Z:).
- ZBI プログラムの実行 — オブジェクトが保存済み ZBI プログラムの場合にのみ有効。詳細については、[71 ページの「Zebra BASIC Interpreter \(ZBI\)」](#)を参照してください。

ディレクトリ・リストを表示するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホーム・ページから、Directory Listing (ディレクトリ・リスト) をクリックします。

このページが開きます。

図 19・ディレクトリ・リスト



2. この表示には、選択フィールドが複数あります。
3. スクリプトを作成するには、Create New Script (新しいスクリプトを作成します) をクリックします。

プリンタのコントロール

このページでは、基本のプリンタ機能のコントロールについて説明します。

他の機能も、このページからアクセスできます。次のような機能があります。

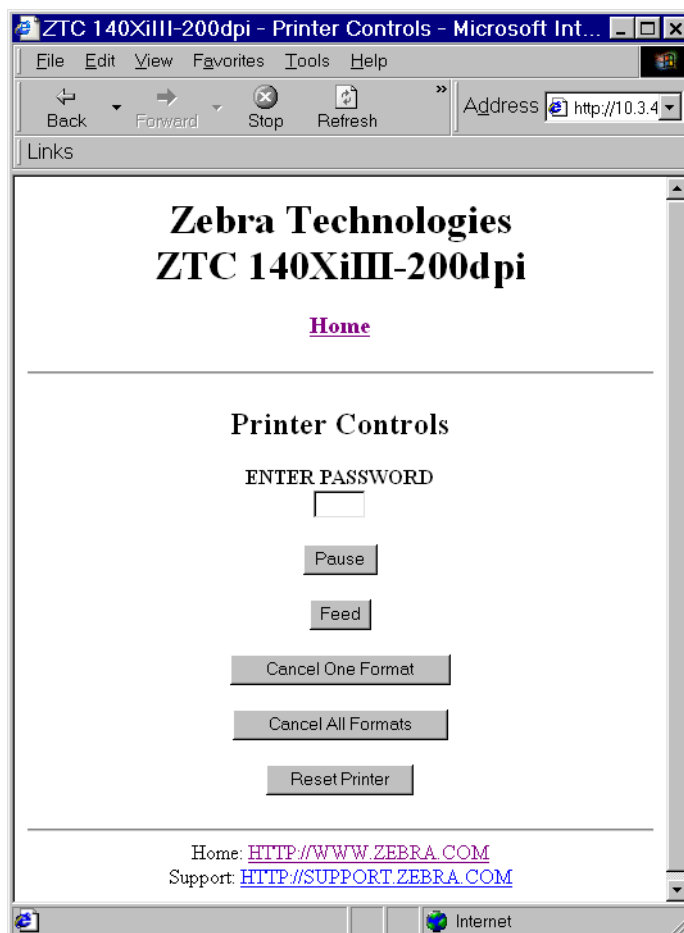
- **フィード** — プリンタが 1 つのラベルをフィードします。
- **1 フォーマットをキャンセル** — 現在のプリント・フォーマットをキャンセルします。
- **すべてのフォーマットをキャンセル** — すべてのフォーマットをキャンセルします。
- **プリンタのリセット** — プリンタは電源をオン / オフせずに標準リセットを実行します。

プリンタのコントロールを表示するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホームページから、Printer Controls (プリンタのコントロール) をクリックします。

このプリンタのコントロール・ページが開きます。

図 20・プリンタのコントロール



重要・この表示で、プリンタのコントロールを変更するには、管理者権限が必要です。

プリント・サーバ設定

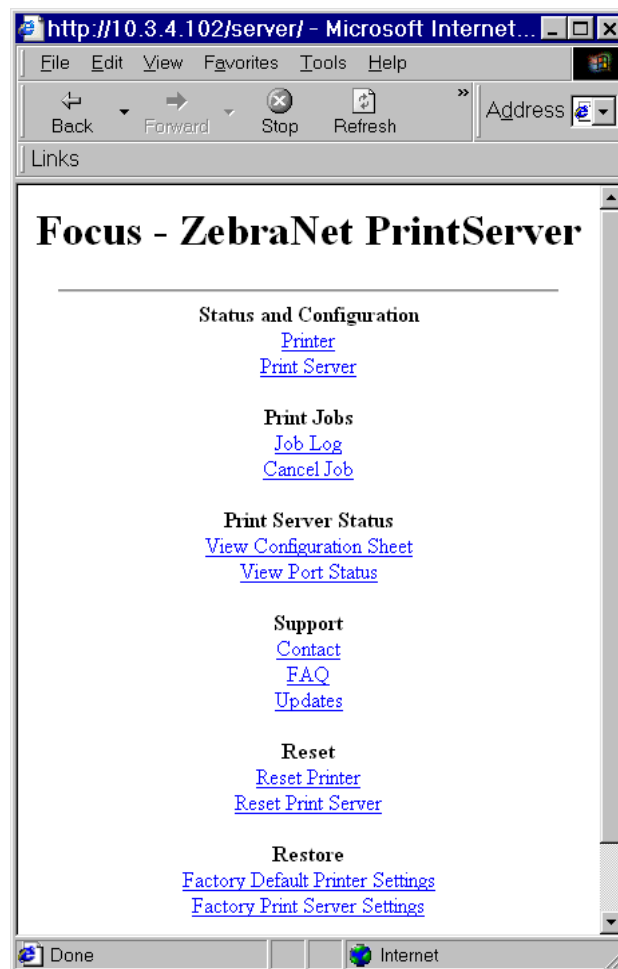
このセクションでは、現在のプリンタ設定を表示する手順を説明します。

プリント・サーバ・メニューを表示するには、次の手順を実行します。

1. プリンタのホーム・ページから、Print Server Settings (プリント・サーバ設定) をクリックします。

プリント・サーバ・ページが開きます。

図 21・プリント・サーバ・ページ



Zebra BASIC Interpreter (ZBI)

ZBIを使用すると、特定のニーズに対応できるように作成されたカスタム・プログラムを使ってプリント・オプションを最大化できます。ZBIプログラムは、ディレクトリ・リスト・ページから、表示、変更および実行を行えます。[67 ページの「ディレクトリ・リスト」](#)を参照してください。ZBIはオプションの機能です。



メモ •



10/100 プリント・サーバ

この付録では、27 ページの「[プリンタを使用する前に](#)」の章で扱われなかった 10/100 PS の機能の詳細について説明します。

目次

10/100 PS 機能	74
ステータスと設定	74
プリント・サーバ・ステータス	83
リセット	85
再定義	86
1 次ネットワーク・プリント・サーバの設定	87
TCP/IP 設定	92

10/100 PS 機能

このセクションでは、プリンタの機能ではなく、10/100 PS 向けにのみ使用できる機能について説明します。このセクションでアクセスする機能の一部では、デフォルトのユーザー ID とパスワードの入力を求められます。



重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」を参照してください。

ステータスと設定

以下の手順は、ファームウェア X.15 以降を使用する ZPL プリンタのナビゲーションに基づいています。



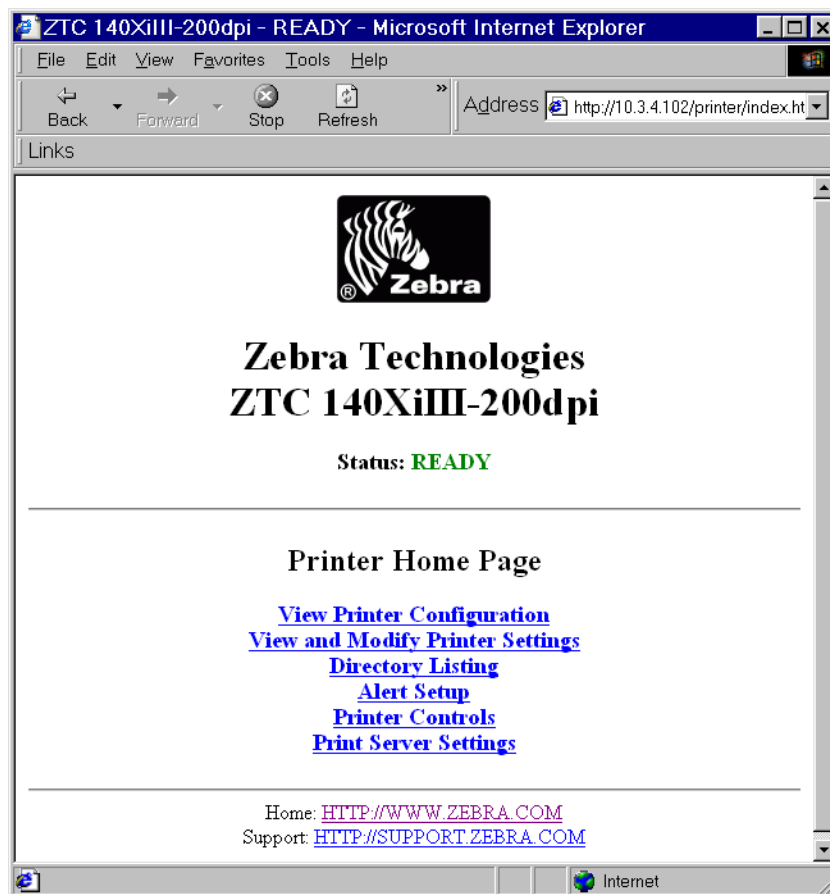
重要・ファームウェアは、Zebra Web サイト <http://www.zebra.com> にアクセスしてアップグレードできます。

プリント・サーバ設定にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. Web ブラウザを開きます。
2. Address (アドレス) テキストボックスで、ご使用のプリンタの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。

プリンタのホーム・ページが開きます。

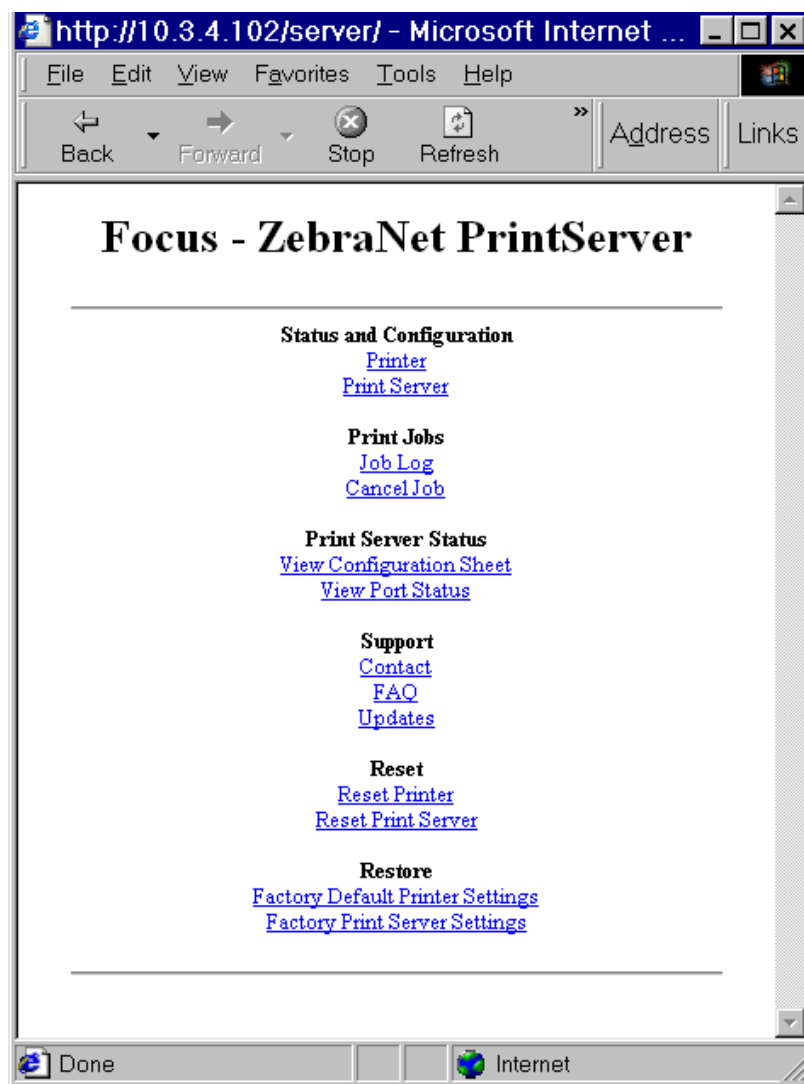
図 22・プリンタのホーム・ページ



3. プリンタのホーム・ページから、Print Server Settings (プリント・サーバ設定) をクリックします。

Print Server Settings (プリント・サーバ設定) ページが開きます。

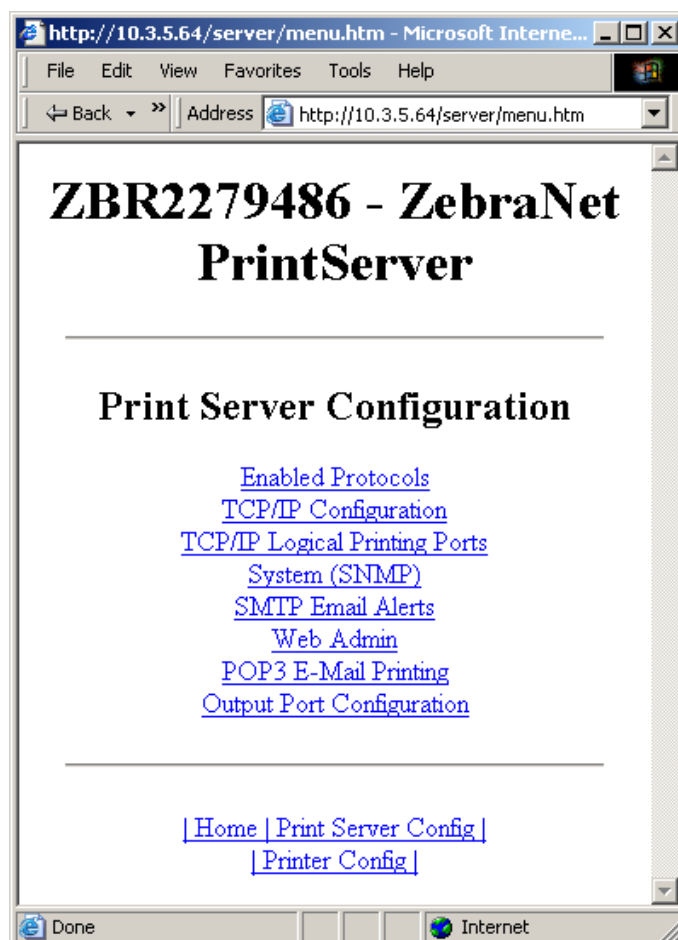
図 23・プリント・サーバ設定ページ



4. プリント・サーバ設定ページから、Print Server (プリント・サーバ) をクリックします。

プリント・サーバ設定ページが開きます。

図 24・プリント・サーバ設定



5. Print Server Configuration (プリント・サーバ設定) ページで、メニューからオプションを選択します。表 4 に、各メニュー・オプション・ページを示します。

表 4・メニュー・オプション

有効なプロトコル

使用するプロトコル (NetWare、HP JetAdmin、または両方) を変更します。
ヒューレット・パッカートの HP JetAdmin サポートを有効にすると、Zebra デバイスからのステータスを HP JetAdmin ユーティリティで表示できるようになります。

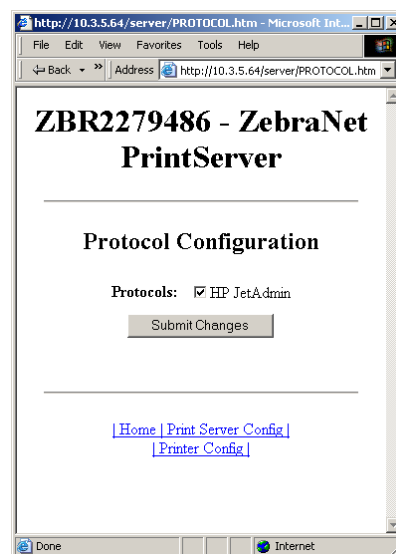


表 4・メニュー・オプション (続き)

TCP/IP 設定

10/100 PS の TCP/IP 設定を変更できます。

- **IP アドレス** : パーマネント・アドレス指定方式を使用している場合は、この機能を使用して IP アドレスを設定します。
- **IP アドレス・レゾリューション** : この機能を使用して、使用するアドレス指定方式を選択します (ダイナミックまたはパーマネント) 。
- **ダイナミック・プロトコル** : この機能を使用して、起動時に使用するダイナミック・アドレス指定方式を選択します。選択項目には、RARP、BOOTP、DHCP、収集またはデフォルト・アドレスがあります。
- **サブネット・マスク** : この機能を使用してサブネット・マスクを設定します。サブネット・マスクは、フォーマット XXX.XXX.XXX.XXX に従う必要があります。ここで、XXX はそれぞれ、0 ～ 255 の範囲の数字です。
- **デフォルト・ゲートウェイ** : この機能を使用して、デフォルト・ゲートウェイを設定します。メッセージを別のネットワークに送信する必要があるときは、必ずこのゲートウェイを使用します。このゲートウェイのアドレスは、フォーマット XXX.XXX.XXX.XXX に従う必要があります。ここで、XXX はそれぞれ、0 ～ 255 の範囲の数字です。
- **WINS サーバ IP アドレス** : この機能を使用して、WINS サーバの IP アドレスを設定または表示します。
- **接続タイムアウト・チェック** : この機能を使用して、接続タイムアウト機能を有効または無効にします。タイムアウト機能は、Timeout Value (タイムアウト値) で入力した秒数より長くアイドル状態になっているネットワーク TCP/IP 接続を閉じるために使用します。
- **タイムアウト値 (秒)** : この機能を使用して、接続タイムアウト値を設定します。有効範囲は、10 ～ 3600 秒です。デフォルト値は 300 秒です。
- **ARP ブロードキャスト間隔 (分)** : この機能を使用して、ARP ブロードキャストを送信する間隔を設定します。有効範囲は、1 ～ 30 秒です。アドレス・レゾリューション・プロトコル (ARP) ブロードキャスト・パケットを使用すると、他のネットワーク・デバイスがそのハードウェア・アドレスでプリント・サーバの IP アドレスを関連付けることができます。
- **ベース・ロウ・ポート番号** : この機能を使用して、プリント・サーバが印刷タスクに使用するロウ TCP ポートを設定します。デフォルトは、ポート 9100 です。

http://10.3.4.102/server/TCPIPGEN.htm

File Edit View Favorites Tools Help

Back Forward Stop Refresh Address Links

Focus - ZebraNet PrintServer

TCP/IP Configuration

IP Address:

IP Address Resolution:

Dynamic Protocols: ☒ RARP
☒ BootP
☒ DHCP
☐ Cleaning
☐ Default Address

Subnet Mask:

Default Gateway:

WINS Server IP Address:

Connection Timeout Checking:

Timeout Value (secs):

ARP Broadcast Interval (mins):

Base Raw Port Number:

[\[Home\]](#) [\[Print Server Config\]](#)
[\[Printer Config\]](#)

Done Internet

表 4・メニュー・オプション (続き)

TCP/IP 論理印刷ポート

論理プリンタを使用すると、出力ポートごとに複数の前処理および後処理の設定をセットアップできるようになります。各論理ポート設定で以下を実行できます。

- 印刷データの前後にユーザー設定ストリングを追加します。
- 印刷データの先頭から不要な文字を削除します。
- プリンタの出力ポートごとに、4 つの論理プリンタ設定がサポートされています。設定はどのポートにも割り当てることができます。また、これらの設定のすべてを単一の出力ポートに割り当てることもできます。

システム (SNMP)

この機能を使うと、プリンタ、コンピュータ、他のネットワーク接続デバイスなど、ネットワーク上にある複数のデバイスを管理できるようになります。

このページで、ご使用の 10/100 PS について、SNMP システム名、システム・ロケーション (10/100 PS 説明)、および他の SNMP 設定を定義できます。

表 4・メニュー・オプション (続き)

SMTP 電子メール・アラート設定

この機能を使用すると、使用しているネットワーク上のシステム情報に関するデータを入力できるようになります。一般に、ネットワーク管理者はこれを使用します。

Web Admin

このページでは、admin 名とパスワードを設定できます。アップグレード情報やサポート情報へのリンクも変更できます。

注記・ファームウェア x.10 以降を搭載した ZPL プリンタでは、プリンタやプリント・サーバ・パスワードを変更できます。

表 4・メニュー・オプション (続き)

POP3 電子メール印刷

この機能を使用すると、印刷可能なフォーマットが含まれる電子メール・メッセージを受信するようにプリント・サーバをセットアップできます。POP3 設定は、電子メール・サーバから電子メールを取得するように設定する必要があります。

重要・Zebra では、POP3 ポーリング・インターバルを 30 未満に設定することをお勧めします。電子メール・サーバによっては、ログインを何度も試みるとアカウントがロックされる場合があります。

出力ポート設定

この機能を使用すると、パラレル・ポート・モード設定を変更できるようになります。パラレル・ポート・モードは、互換、ニブル、バイト、ECP から選択できます。

- 互換モードは、データをプリンタに送信する専用の一方向前方モードです。
- ニブル・モード、バイト・モードおよび ECP モードはいずれも両方向モードです。データはプリンタとの間でやりとりすることができます。
 - ニブル・モードでは、プリンタからプリント・サーバへ逆方向に、一度に 4 ビットだけデータを送信します。ニブル・モードでは、プリント・サーバからプリンタへの通信は互換モードを介して行われます。
 - バイト・モードでは、プリンタからプリント・サーバへ逆方向に、一度にフル・バイトのデータを送信します。バイト・モードでは、プリント・サーバからプリンタへの通信は互換モードを介して行われます。
 - ECP モードは、他のモードよりも効率的にデータを転送する完全な前方向 / 後方向モードです。

プリント・サーバ・ステータス

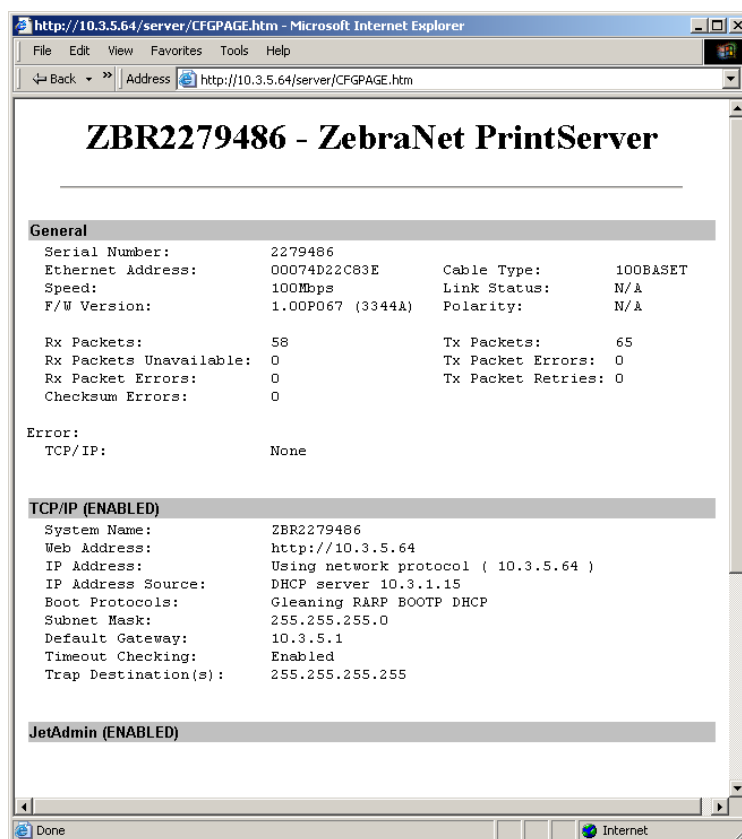
プリント・サーバ・ステータス・セクションの Print Server (プリント・サーバ) ページから、10/100 PS 設定ページとポート・ステータスにアクセスできます。

10/100 PS 設定ページを開くには、次の手順を実行します。

1. Print Server (プリント・サーバ) ページから、View Configuration (表示設定ページ) をクリックします。

Configuration (設定) ページが開きます。

図 25・設定シート



ポート・ステータスを表示するには、次の手順を実行します。

このページにアクセスするには、デフォルトのユーザー ID とパスワードの入力が求められます。

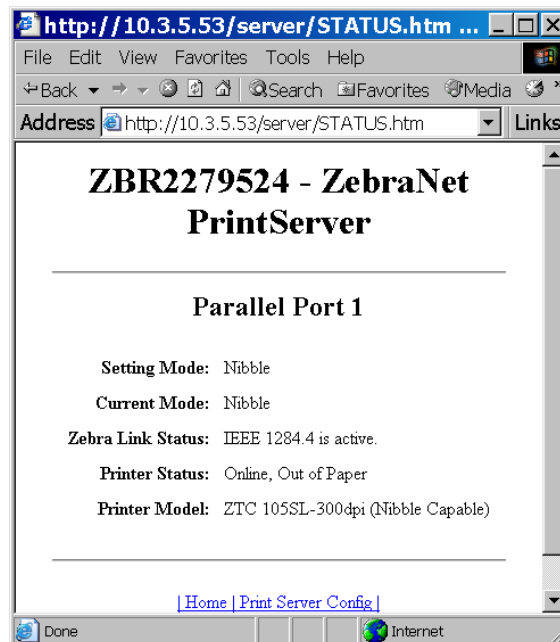


重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」を参照してください。

1. Print Server (プリント・サーバ) ページから、View Port Status (ポート・ステータスの表示) をクリックします。

Port Status (ポート・ステータス) ページが開きます。

図 26・ポート・ステータス



リセット

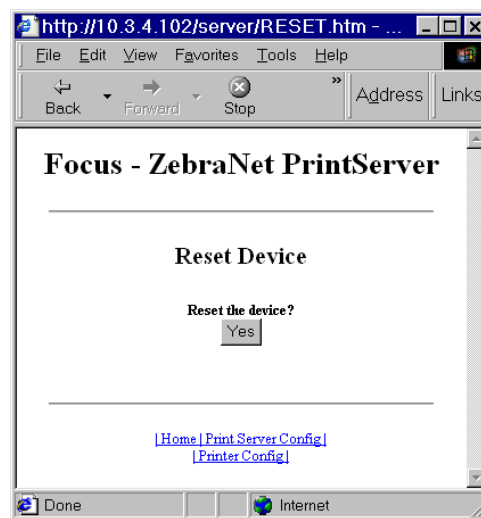
リセット・セクションの Print Server (プリント・サーバ) ページから、10/100 PS 構成設定を直近の変更前の設定内容にリセットできます。

10/100 PS をリセットするには、次の手順を実行します。

1. Print Server (プリント・サーバ) ページから、Reset Print Server (プリント・サーバのリセット) をクリックします。

Reset Device (デバイスのリセット) ページが開きます。

図 27・プリント・サーバのリセット



2. 10/100 PS をリセットするには、Yes (はい) をクリックします。

再定義

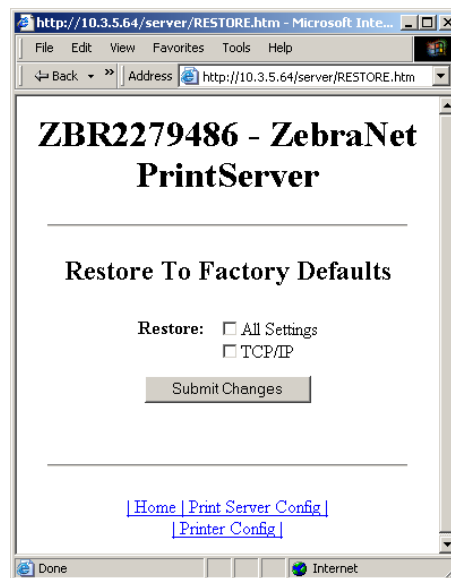
Print Server (プリント・サーバ) ページから、Restore (再定義) セクションで、10/100 PS をデフォルトの工場出荷時設定に戻します。

10/100 PS をデフォルトの工場出荷時設定に戻すには、次の手順を実行します。

1. Print Server (プリント・サーバ) ページから、Factory Print Server Settings (プリント・サーバの工場出荷時設定) をクリックします。

Restore To Factory Defaults (工場出荷時のデフォルトに再定義する) ページが開きます。

図 28・工場出荷時設定に再定義する



2. 目的の選択肢を選択し、Submit Changes (変更の通知) をクリックします。

1 次ネットワーク・プリント・サーバの設定

ZM400、ZM600 および Xi4 プリンタは、内蔵、外部および無線プリント・サーバの同時インストールをサポートします。3つのプリント・サーバをすべてインストールできますが、ネットワークに接続してアクティブなプリント・サーバとなるのは1つだけです。表 5 に、優先順位の概略を示し、複数のプリント・サーバがインストールされている場合にどのデバイスがアクティブなプリント・サーバになるかを示します。

表 5・1 次プリント・サーバ

1 次ネットワークの 設定先：	ライブ・イーサネット・ネットワークに インストール/接続			アクティブな プリント・サーバ
	内蔵	外部	無線 *	
有線	X	X	X	??
		X	X	??
			X	??
無線	X	X	X	??
	X	X		??
		X		??

* 注：無線オプション・ボードには、アクセス・ポイントに正しく関連付けられるアクティブな無線が搭載されている必要があります。

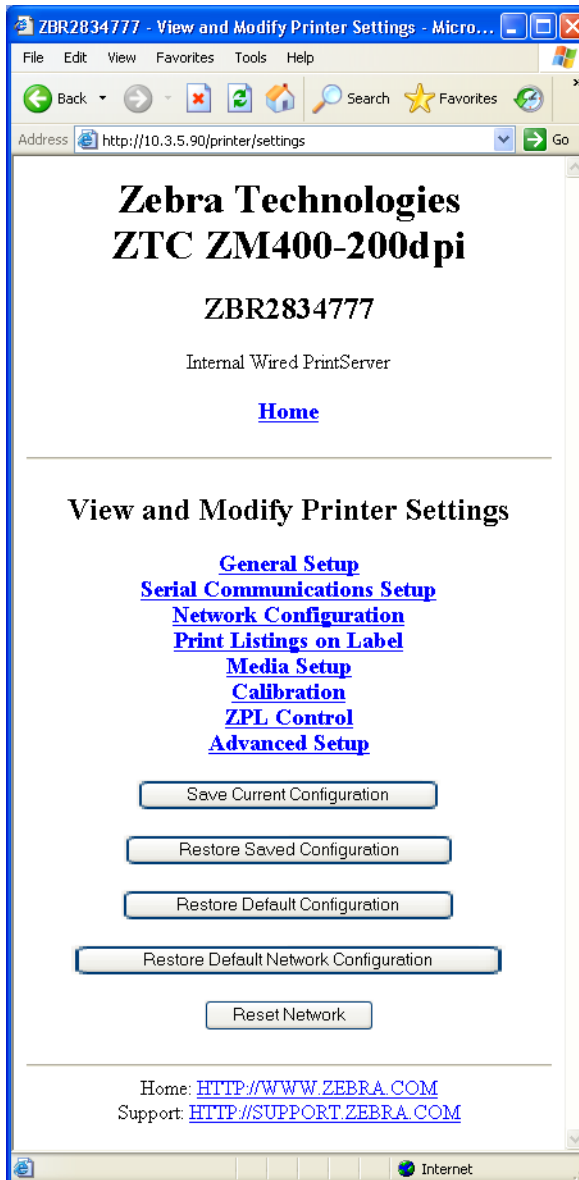
このセクションでは、1 次ネットワークを変更する際の手順を説明します。

1 次ネットワークを変更するには、次の手順を実行します。

3. プリンタのホーム・ページから、View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) をクリックします。

View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) ページが開きます。

図 29・プリンタの設定の表示&変更をします



4. 入力を求めるプロンプトが表示されたら、プリンタのパスワードを入力します。

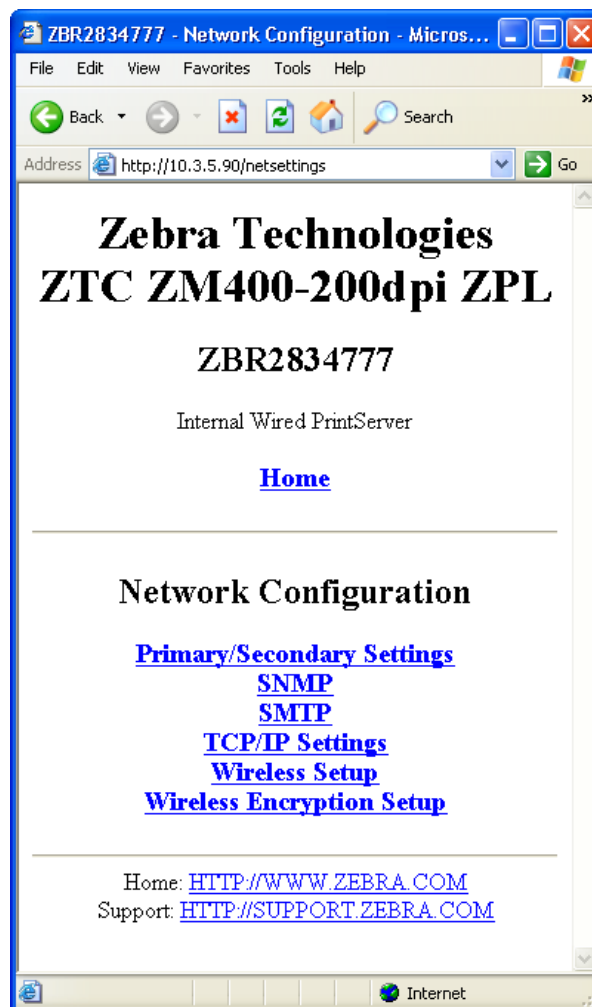
このセクションで行った変更内容を適用するには、プリンタのデフォルトのパスワードを使用する必要があります。



重要・デフォルトのユーザー ID やデフォルトのパスワードに関する特定の情報については、28 ページの「デフォルトのユーザー ID とパスワード」を参照してください。

5. Network Configuration (ネットワーク設定) をクリックします。
Network Configuration (ネットワーク設定) ページが開きます。

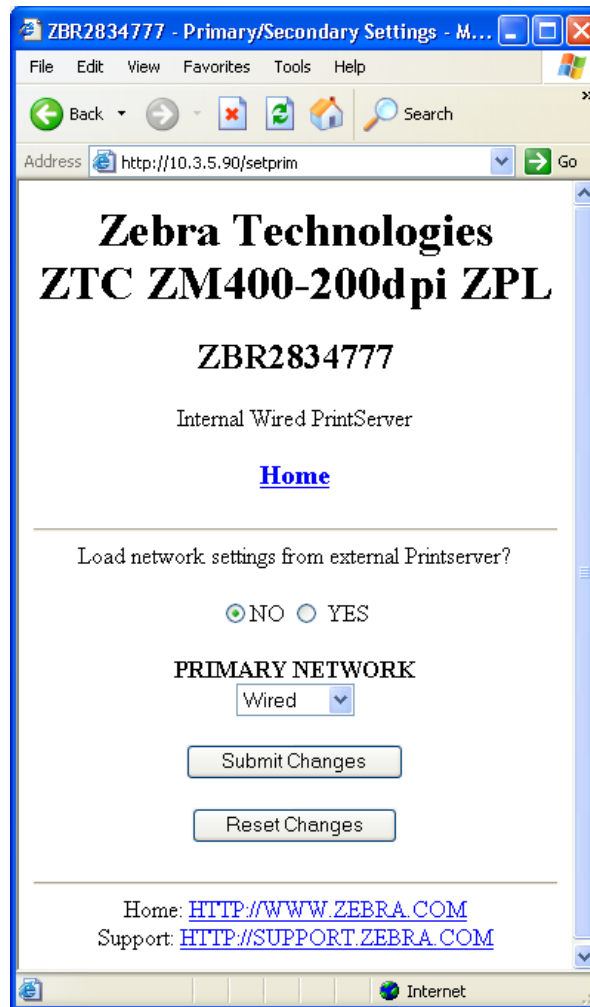
図 30・ネットワーク設定ページ



6. Primary/Secondary Settings (1 次 /2 次設定) をクリックします。

図 31 が開きます。

図 31 • Primary/Secondary Settings (1 次 /2 次設定) ページ



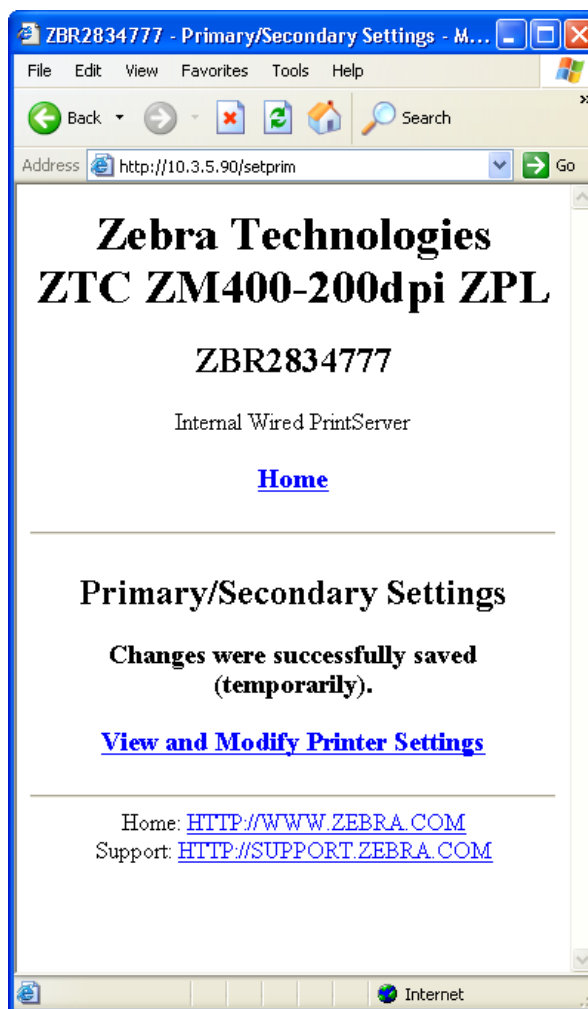
7. 外部プリント・サーバからネットワーク設定をロードする場合は、YES (はい) をクリックします。
8. 1 次ネットワークを変更するには、Primary Network (1 次ネットワーク) ドロップダウンをクリックします。Wired (有線) または Wireless (無線) プリント・サーバのいずれかを選択します。

87 ページの表 5 に、優先順位の概略を示し、複数のプリント・サーバがインストールされている場合にどのデバイスがアクティブなプリント・サーバになるかを示します。

9. Submit Changes (変更の通知) をクリックして変更内容を適用するか、または Reset Changes (変更のリセット) をクリックして、以前の設定に戻ります。

図 32 が開き、設定が一時的に保存されたことを確認します。

図 32 • 1 次 / 2 次設定の保存



10. View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) リンクをクリックします。
11. View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) ページから、Save Current Configuration (現在の構成の保存) をクリックします。

これで、設定は永久的に保存されます。

TCP/IP 設定

ZM400、ZM600 および Xi4 プリンタの場合、TCP/IP 設定の表示および変更はこのセクションで行えます。これらの設定値には、以下があります。

- IP アドレス
- IP プロトコル
- サブネット・マスク
- デフォルト・ゲートウェイ

TCP/IP 設定を変更するには、次の手順を実行します。

12. プリンタのホーム・ページから、View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) をクリックします。

View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) ページが開きます。

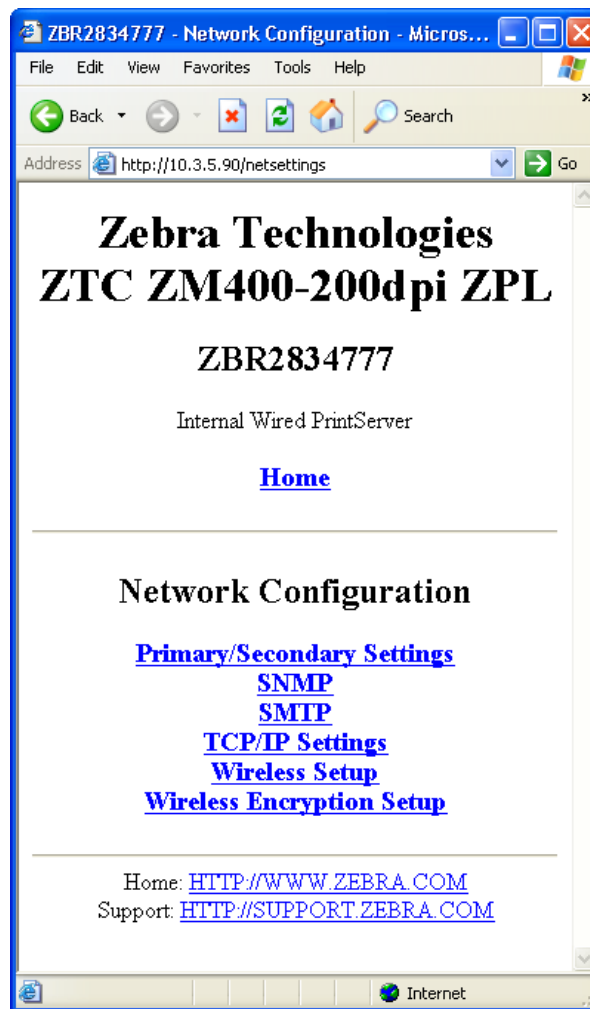
図 33・プリンタの設定の表示&変更をします



13. Network Configuration (ネットワーク設定) をクリックします。

Network Configuration (ネットワーク設定) ページが開きます。

図 34・ネットワーク設定ページ



14. TCP/IP Settings (TCP/IP 設定) をクリックします。

図 35 が開きます。

図 35・TCP/IP 設定ページ

Setting	External Wired	Wireless	Internal Wired
IP ADDRESS	000.000.000.000	000.000.000.000	010.003.005.090
IP PROTOCOL	ALL	ALL	ALL
SUBNET MASK	255.255.255.000	255.255.255.000	255.255.255.000
DEFAULT GATEWAY	000.000.000.000	000.000.000.000	010.003.005.001
WINS SERVER IP	000.000.000.000	000.000.000.000	010.003.001.098
TIMEOUT CHECKING	YES	YES	YES
TIMEOUT VALUE	300	300	300
ARP INTERVAL	0	0	0
BASE RAW PORT	9100	9100	9100
CLIENT ID ENABLED	OFF	OFF	OFF
CLIENT ID TYPE	MAC ADDRESS	MAC ADDRESS	MAC ADDRESS
CLIENT ID PREFIX			
CLIENT ID SUFFIX	00000000000000	00000000000000	00074d2b4159

Submit Changes

Reset Changes

Home: [HTTP://WWW.ZEBRA.COM](http://www.zebra.com)
Support: [HTTP://SUPPORT.ZEBRA.COM](http://support.zebra.com)

15. TCP/IP Settings (TCP/IP 設定) ページから、インストール済みのプリント・サーバすべての設定を変更できます。



注記・ZM400、ZM600 および Xi4 プリンタは、内蔵、外部および無線プリント・サーバの同時インストールをサポートします。複数のプリント・サーバが存在する際の優先順位およびアクティブなプリント・サーバの詳細については、[87 ページの表 5](#) を参照してください。

16. Submit Changes (変更の通知) をクリックして変更を受け入れて保存するか、または Reset Changes (変更のリセット) をクリックして、以前の設定に戻ります。



メモ・ _____



コントロール・パネル

この付録では、コントロール・パネルのメニュー・オプションの詳細について説明します。

目次

コントロール・パネルのメニュー・オプション	98
LCD 上の有線ネットワーク・パラメータ	98

コントロール・パネルのメニュー・オプション

コントロール・パネル (または液晶ディスプレイ - LCD) メニュー・オプションは、10/100 PS がインストールされているときにのみ表示されます。コントロール・パネル・パラメータは、プリンタによって多少異なります。コントロール・パネル・パラメータを変更する特定の手順については、プリンタのユーザー・ガイドを参照してください。

LCD 上の有線ネットワーク・パラメータ



表 6 に、10/100 PS インストール済みの Zebra XiIIIPlus、Z4Mplus/Z6Mplus、105SL、PAX4、Xi4、ZM400/ZM600、および S4M プリンタで使用する有線ネットワーク・パラメータの内容を説明します。

ワイヤレス・ネットワーク・パラメータについては、『Zebranet® ワイヤレス・ユーザー・ガイド』を参照してください。

表 6・有線ネットワーク・パラメータ

XiIIIPlus	Z4Mplus/Z6Mplus	105SL	PAX4	Xi4	ZM400/ZM600	S4M	LCD オプション	詳細
✓	✓	✓	✓				ユウセン _PS_ ヲカクニンシマスカ？	これは、プリンタが起動時に有線プリント・サーバを検索するかどうかを指定します。
				✓	✓		イチジ _ ネットワーク	これを指定すると、プリンタが起動時に無線または有線のプリント・サーバから IP 設定を使用しているかどうかを確認できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓		LAN_ セッテイ _ ロード・モトハ？  Xi4 および ZM400/ZM600 LCD メニューで次のように表示されます。 ガイブカラ _ ロード？	これは、起動時に IP 設定をプリンタから使用するのか、それともプリント・サーバから使用するのかを判別します。
✓	✓	✓	✓	✓	✓		アクティブ _ プリントサーバ	これを指定すると、使用中のプリント・サーバを確認できるようになります。

表 6・有線ネットワーク・パラメータ

X111Plus	Z4Mplus/Z6Mplus	105SL	PAX4	Xi4	ZM400/ZM600	S4M	LCD オプション	詳細
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	IP_ プロトコル  S4M LCD メニューで次のように表示されます。 IP_ アドレス_ ショク 続いて次が表示されます。 IP_ プロトコル_ ヘンコウ	これを指定すると、IP アドレスをユーザー (パーマネント) が選択するのか、またはサーバ (ダイナミック) が選択するのかを確認できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	IP_ アドレス  S4M LCD メニューで次のように表示されます。 IP_ アドレス_ ヘンコウ	これを指定すると、IP_アドレス_ショクに確定が選択されているときにのみ、この設定を変更できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	サブネット_ マスク  S4M LCD メニューで次のように表示されます。 サブネット_ マスク/ヘンコウ	これを指定すると、サブネット・マスクを表示できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	デフォルト_ ゲートウェイ  S4M LCD メニューで次のように表示されます。 デフォルト_ ゲートウェイ/ヘンコウ	これを指定すると、デフォルトのゲートウェイを表示できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	MAC_ アドレス	これを指定すると、現在の無線ラジオ・カードに MAC アドレスを表示できるようになります。
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	ネットワーク_ リセット	これを指定すると、無線ラジオ・カードとプリント・サーバ (有線または無線) を再初期化できるようになります。



メモ・ _____



ハードウェア・トラブル シューティング

このセクションでは、既知の問題の解決策について説明します。

目次

10/100 PS のトラブルシューティング	102
工場出荷時のデフォルトへのリセット	102
10/100 PS ステータス・インジケータ	102
10/100 PS ネットワーク・ステータス / アクティビティ・インジケータ	103
ZebraNet Bridge 検出または設定の問題	104
印刷できない	104
デバイスを設定できない	106
HP JetAdmin または HP Web JetAdmin	106

10/100 PS のトラブルシューティング

工場出荷時のデフォルトへのリセット



注記・Test (テスト) ボタンを使用してデバイスをデフォルト設定するには、10/100 PS デバイスにアクティブなネットワーク・ケーブルを接続しておく必要があります。

10/100 PS 構成パラメータを工場出荷時のデフォルトにリセットするには、プリンタの電源をオンにしながら、Test (テスト) ボタンを押し続けます。テスト・ボタンを押し続け、ステータス・インジケータが緑色になったらテスト・ボタンを放します。約 20 秒後に、設定ラベルが、自動的に印刷されます。

10/100 PS ステータス・インジケータ

10/100 PS の動作状態は、2 色のステータス・インジケータで表示されます。以下の状態が発生する場合があります。

- 通常の動作時に、LED は 30 秒間以上にわたって**緑色**に点灯します。

この状態は、すべてのハードウェアが正常に機能していて、10/100 PS がネットワークの存在を検出したことを示します。10/100 PS に IP アドレスがある、またはプリンタ・キューに装着されていることを示すわけではありません。

- LED がゆっくりと**赤色**で点滅している場合、10/100 PS はネットワーク・ケーブルの存在を検出していません。この問題を解決するには、次の手順に従います。
 1. プリンタの電源をオフ (O) にします。
 2. ネットワーク・ケーブルを 10/100 PS から取り外します。
 3. ネットワーク・ケーブルを、カチッという音がするまで元の場所に差し込みます。
 4. ケーブルの反対側も同様にして確認します。
 5. プリンタの電源をオン (I) にします。10/100 PS がまだケーブルを検出しない場合は、続行します。



重要・CAT-6 よりも高い定格のケーブルは、テストされていません。

6. ネットワーク・ケーブルがネットワークに適切であり、RJ-45 コネクタが使用されていることを確認します。

7. 良好な状態のネットワーク接続であると判明しているネットワークドロップに 10/100 PS を接続します。それでも 10/100 PS がネットワーク・ケーブルを検出できない場合は、技術サポートに連絡してください。

- LED がゆっくりと**緑色**で点滅している場合 (1 回 / 秒)、10/100 PS はジョブを印刷しようとしています。ジョブが印刷されない場合、次を確認してください。
 1. プリンタに用紙とリボンがあるかどうか確認します (熱転写モードの場合)。

2. プリンタにエラーが表示されている場合、10/100 PS はプリンタにデータを送信できていません。LED は、プリンタのエラーが解決されるか、プリンタの電源が切られる (O) まで点滅し続けます。
3. 赤色の点滅は、電源オン・セルフテスト (POST) が進行中であることを示します。
- アクティブなネットワーク・ケーブルが接続されていて、LED が 30 秒間以上**赤色**に点灯する場合、10/100 PS は POST に失敗しています。この障害が深刻でなければ、10/100 PS はプリンタで設定ラベルの印刷を試みます。POST の失敗の原因は、接続されている 10/100 PS デバイスの動作不良状態にある可能性があります。
 1. プリンタの電源をオフ (O) にして、10 秒間待ってから、プリンタの電源をオン (I) にします。
 2. それでも 10/100 PS が POST に失敗する場合は、以下を続行します。
 3. 10/100 PS には、修理するにはユニットを交換するか返却するしかないハードウェア障害が発生しています。修理または交換の情報については、修理サービスまで連絡してください。
- LED が 2 分間以上、**赤色**と**緑色**が交互に点滅している場合、10/100 PS はファームウェアのダウンロード・モードになっています。これは、通常の動作を続行する前に、新しいファームウェア・データの送信を待機しているという意味です。次を実行してください。
 1. 故意に 10/100 PS をファームウェアのダウンロード・モードに入れた場合は、適切な更新ユーティリティを使用してダウンロードを終了してください。このユーティリティをダウンロードするには、Zebra Web サイト (<http://www.zebra.com>) にアクセスしてください。
 2. 故意に 10/100PS をファームウェアのダウンロード・モードに入れたのではない場合、またはこのモードを終了する場合は、ユニットをデフォルト設定します。[102 ページの「10/100 PS ステータス・インジケータ」](#)の説明に従ってください。
 3. その他の問い合わせについては、技術サポートに連絡してください。

10/100 PS ネットワーク・ステータス/アクティビティ・インジケータ

2 色のステータス/アクティビティ LED は、ネットワークの速度、確立済みのリンク、およびネットワーク・アクティビティを示します。

- LED がオフの場合、リンクは確立されていません。
- LED が**緑色**に点灯している場合、100BASE-T リンクが確立されています。
- LED が**緑色**で点滅している場合、100BASE-T リンクが確立されており、ネットワーク・アクティビティが検出されています。
- LED が**オレンジ色**に点灯している場合、10BASE-T リンクが確立されています。
- LED が**オレンジ色**で点滅している場合、10BASE-T リンクが確立されており、ネットワーク・アクティビティが検出されています。

この LED により検出されるネットワーク・アクティビティは、アクティビティがプリント・サーバのデータであるという意味ではありません。上記のアクティビティは、10/100 PS 上で認識されるネットワーク上のすべてのアクティビティです。

ZebraNet Bridge 検出または設定の問題

ZebraNet Bridge を使用していてユニットの検出や設定で問題がある場合は、以下を確認してください。

- ZebraNet Bridge を実行しているワークステーションと 10/100 PS の間にルータがないことを確認します。10/100 PS には IP アドレスがないため、ルータを介して TCP/IP 通信を開始することはできません。10/100 PS と同じサブネット上で ZebraNet Bridge を実行します。
- 10/100 PS が緑色に点灯していることを確認します。LED がすばやく緑色に点滅している場合は、接続されているネットワーク・ケーブルを確認します。

印刷できない

印刷時に問題が発生した場合は、10/100 PS とプリンタの間に通信が行われていることを確認します。以下を確認します。

- 10/100 PS 上のテスト・ボタンを押して、設定ラベルを印刷します。設定ラベルが印刷されない場合は、プリンタに用紙とリボン（使用している場合）があることと、プリンタが一時停止されていないことを確認します。
- プリンタに対して ping を行って、プリンタと通信できることを判別します。「プリンタに対して ping を行う」を参照してください。
- または、Telnet セッションを開き、ZPL コマンドを送信して設定ラベルを印刷します。詳細については、[105 ページの「Telnet」](#)を参照してください。
- ヘッド・オープン、用紙切れ、リボン切れなど、明らかなエラー状態を確認します。
- それでも問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。

プリンタに対して ping を行う

プリンタに対して ping を行うには、次の手順を実行します。

1. DOS ウィンドウを開きます。

DOS ウィンドウを開くには、Start (スタート) > Run (実行) の順にクリックします。

2. Open (開く) テキストボックスで、次を入力します。cmd
3. DOS プロンプトから、次を入力します。

```
ping xxx.xxx.xxx.xxx
```

ここで、xxx.xxx.xxx.xxx はプリント・サーバの IP アドレスです

4. 図 36 を参照してください。プリント・サーバから接続を示す応答があります。

図 36 • 正常な ping の例

```
C:\>ping 172.30.1.34

Pinging 172.30.1.34 with 32 bytes of data:

Reply from 172.30.1.34: bytes=32 time=8ms TTL=126
Reply from 172.30.1.34: bytes=32 time=25ms TTL=127
Reply from 172.30.1.34: bytes=32 time=6ms TTL=127
Reply from 172.30.1.34: bytes=32 time=23ms TTL=127

Ping statistics for 172.30.1.34:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 6ms, Maximum = 25ms, Average = 15ms
```

問題が通信の障害である場合は、エラー・メッセージを受信することになります。

Telnet

telnet セッションを開き、DOS プロンプトから ZPL コマンドを送信します。



注記・前述の手順を使用してプリンタに対して ping を行った場合は、telnet セッションを開く必要はありません。上記の 2 つの手順の目的は、PC がプリンタと通信できるかどうかを特定することです。

ZPL II コマンドを送信して設定ラベルを印刷するには、次の手順を実行します。

1. DOS ウィンドウを開きます。

DOS ウィンドウを開くには、Start (スタート) > Run (実行) の順にクリックします。

2. Open (開く) テキストボックスで、次を入力します。cmd
3. DOS プロンプトから、次を入力します。

```
telnet xxx.xxx.xxx.xxx 9100
```

ここで、xxx.xxx.xxx.xxx はプリント・サーバの IP アドレスです。

これで、PC はプリンタの平行・ポートを介して 10/100 PS に接続されます。

4. ~WC と入力します。

この ZPL コマンドによりプリンタで設定ラベルが印刷されます。

5. ウィンドウの右上隅にある X をクリックして終了します。

設定ラベルが印刷された場合、問題はプリンタ、プリント・サーバまたは PC の間の通信の障害ではありません。

デバイスを設定できない

ZebraNet Bridge を使用して ZebraNet 10/100 PS に IP アドレスを割り当てるには、同じサブネット上になくてもなりません。ZebraNet Bridge でマルチキャストが有効になっている場合は、別のサブネット上の ZebraNet 10/100 PS を表示できますが、デバイスを設定することはできません。

HP JetAdmin または HP Web JetAdmin

ZebraNet 10/100 PS は、HP JetAdmin や HP Web JetAdmin 製品を使用してもセットアップや管理を行えます。



よくある質問

このセクションでは、10/100 PS に関するよくある質問 (FAQ) をまとめて説明します。

FAQ

内蔵 ZebraNet 10/100 PS オプションは、TCP/IP プロトコルと IPX プロトコルを同時に実行しているコンピュータ・ネットワークで利用できますか？ はい。ZebraNet 10/100 PS は、使用可能なすべてのプロトコルを同時に実行します。つまり、ZebraNet 10/100 PS は、Microsoft や UNIX を使用しているネットワークなど、異種混合ネットワークでも実行できます。



重要・ZebraNet 10/100 PS は IPX をサポートしませんが、IPX プロトコルを使用するネットワークで機能します。

ZebraNet 10/100 PS を使用すると、PC ネットワーク以外にも接続できるようになりますか？ はい。ZebraNet 10/100 PS を使用すると、TCP/IP を使用して設定されている環境であれば、IBM の AS400 などのシステムに接続できます。他のネットワーク・プロトコルも、10BASE-T/100BASE-T に変換するサードパーティ・アダプタで使用できます。

プリント・ジョブでキューまで進みますが、キューから先に進まないのはどうしてですか？ラベルが印刷されません。 以下を確認してください。

- プリンタの電源がオンになっていて、通電していることを確認します。
- ネットワーク・ケーブルが差し込まれていて、プリンタに対して ping を実行できることを確認します。
- 上記の確認項目をチェックしても結果が変わらない場合は、キューの作成時に設定が間違っていた可能性があります。以下を検証しながらキューを作成し直してください。
 - 必ず、プリント・サーバの有効な IP アドレスを使ってください。
 - UNIX または AS/400 ホストを使用している場合は、リモート・キュー名にオプションがあります。有効回答は次の 1 つだけです。PORTLF1。
 - Windows で LPR をインストールしていない場合には、上記の必須オプションは空白のままにしてください。
 - 他のオペレーティング・システム固有のキューの作成については、マニュアルを参照してください。

プリンタをネットワーク化する際の最低要件を教えてください。

- 10BASE-T/100BASE-T コネクタ付き cat-5 ネットワーク・ケーブル
- 10/100 PS
- ハブまたはスイッチ
- ハブまたはスイッチを使用しない場合は、クロス・オーバ・ケーブルが必要です。
- プrint・サービスがインストールされている TCP スタックを実行しているワークステーション。

プリント・サーバのデフォルトのユーザー ID とパスワードを教えてください。

- ユーザー ID は **admin** で、パスワードは **1234** です。

10/100 PS で開いているポートと、関連のソフトウェアを教えてください。

TCP ポート :

- 21 FTP
- 23 Telnet
- 80 HTTP Server
- 515 Printer port
- 631 IPP port
- 9100 Raw socket connection

UDP ポート :

- 161 SNMP broadcast from 10/100 PS
- 162 SNMP trap on ZebraNet Alert
- 4201 discovery destination on 10/100 PS
- (動的) SNMP get request from ZebraNet Bridge
- (動的) discovery broadcast from ZebraNet Bridge
- (動的) discovery broadcast from ZebraNet Bridge

10/100 PS の使用時に、ネットワーク接続オプションには、どのような方式がありますか？

ご使用の環境によって異なりますが、プリント・サーバは、次の方式のいずれかでプリント・ジョブを受け取ります。

- *FTP* — ZPL/EPL ファイルは、FTP クライアントを介して標準 ASCII ファイルとしてプリンタに送信できます。
- *HTTP* — (ZebraLink 対応のプリンタのみ) プリント・サーバのホームページのスク립ト・オプションを使用し、Web ブラウザの指定場所に ZPL と入力してプリンタに送信できます。
- *IPP* — サードパーティの IPP クライアントを使用し、インターネットを介してプリント・ジョブを送信できます。
- *LPR/LPD* — キュー・ベース印刷と呼ばれることもあります。LPR/LPD は、ネットワーク・プリンティングの標準です。TCP/IP オペレーティング・システムは、ほとんどがこのオプションに対応しています。
- *Raw socket connection* — 中間をすべて迂回して、ネットワークを介して直接プリンタに接続できます。このオプションは一般に、ZPL/EPL を既存のプログラム (VB スクリプトなど) に組み込むために使用します。
- *POP3* — 適切に設定することで、ZPL/EPL ファイルを電子メールの本文に入れると印刷されます。プリント・サーバは、指定された間隔でこのメール・ボックスを定期的にチェックし、メッセージの本文を印刷します。**重要**：添付ファイルとサブジェクト・ラインはサポートされません。



メモ • _____

用語集



10BASE-T シールド (ノイズ遮断用導電被覆) のないツイスト・ペア・ケーブルを用いるイーサネット規格。

100BASE-T ツイスト・ペア・ケーブルを用いた、1 秒間に 100Mb のデータを伝送できるイーサネット規格。

ARP デバイスの実際のネットワーク・アドレスを IP アドレスに基づいて判別する標準 TCP/IP 方式。

ASCII 文字列をバイナリ表記するための標準コード。

BOOTP BOOTP (ブートストラップ・プロトコル) とは、ネットワーク・ユーザーを自動設定 (IP アドレスを受信) し、ユーザーの介入なしにオペレーティング・システムを起動させるプロトコル。BootP サーバは、次の情報を自動設定します。IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット、システム名、ネーム・サーバ、および特定の期間にわたってプールされた事前定義アドレスからの情報。BootP は、さらに高度なネットワーク管理プロトコルである DHCP (動的ホスト構成プロトコル) のベースとなったプロトコルです。

ブロードキャスト ネットワーク内で、ネットワーク上の不特定多数の相手が特定の packets を受信する状況。

クライアント クライアント / サーバ環境にあるワークステーションまたは PC。

コミュニティ SNMP において、エージェントと、セキュリティ特性を定義する SNMP マネージャのセットとの関係。コミュニティの概念は、エージェントで定義されるローカルなものです。各コミュニティは一意のコミュニティ名が付けられます。

現在のモード (パラレル・ポート) プリンタとプリント・サーバがネゴシエートするモード。

DHCP (動的ホスト構成プロトコル) DHCP は、もう 1 つのネットワーク IP 管理プロトコルであるブートストラッププロトコル (BOOTP) に代わるものです。BOOTP と同様、DHCP は、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネット、システム名およびネーム・サーバを設定できます。10/100 PS の場合、BOOTP も DHCP も設定するオプションは同じです。

delete bytes delete bytes に指定する数値は、論理プリンタに伝送されるすべてのジョブの先頭から削除する文字数です。delete bytes に指定する数値の範囲は 0 ～ 255 です。

動的 動的構成とは、文字どおり、変更される、という意味です。BOOTP でも DHCP でも、割り当てる設定値にリース時間を指定します。変更は、リース時間によって、およびプリンタのオフライン / オンラインの頻度によって異なります。BOOTP や DHCP も動的構成です。

イーサネット IEEE 802.3 標準に基づく、ローカル・エリア・ネットワーク・システムで、広く使用されています。

ファームウェア ROM (読み取り専用メモリ) に格納されるソフトウェア・ルーチン。一般に、プリンタまたは 10/100 PS などのデバイスの一部です。

FTP File Transfer Protocol (ファイル転送プロトコル)。ネットワークで、デバイス間のファイル転送に使用される TCP/IP 関連のプロトコル。

フラッシュ・メモリ データの読み書きを自由に行うことができ、電源を切ってもデータが消えないメモリの一種。ファームウェアは新しいコードをダウンロードして簡単に更新できるため、ファームウェアの格納に便利です。

ゲートウェイ 異なる階層のネットワーク・プロトコル間で、ハイレベル・ネットワーク・プロトコルを別のハイレベル・プロトコルに変換するデバイス。

収集 一時的なローカル設定オプション。収集を使うと、設定するデバイスのアドレスをローカル・ワークステーションの ARP テーブルに追加できます。この設定は確定ではなく、ARP 情報を入力したワークステーションからのみ有効です。ワークステーションの ARP テーブルに情報を入力した後、設定を確定するには、Telnet セッションで追跡して情報を入力します。注記 :ZebraNet Bridge の使用時、アドレス 0.0.0.0 の有線 PS は、ローカル・ブロードキャストでのみ検出されます。

IP Internet Protocol (インターネット・プロトコル)。TCP/IP プロトコル・スイートの主要なプロトコルの一種。

IP アドレス TCP/IP プロトコルで使用するネットワーク・アドレス。

IPP Internet Printing Protocol (インターネット・プリンティング・プロトコル)。プリンタを URL アドレスに関連付けて、インターネット上で印刷に使用できるようにします。

IPX Internetwork Packet Exchange (アイ・ピー・エックス)。NetWare プロトコルの一種。

JetAdmin NetWare および TCP/IP で使用できる、ヒューレット・パカード・プリンタ管理プログラム。

論理 物理的でなく、概念的であること。たとえば、コンピュータはネットワーク（イーサネット・アダプタ・カード）に接続された単一の物理的接続ですが、ネットワークで他の複数のデバイスに論理的に接続されていると考えることができます。

MAC アドレス Media Access Control (MAC)。割り当てられた IP アドレスに対応するイーサネット・アドレス。

ネーム・サーバ TCP/IP ネットワークで、ネットワーク上のすべてのワークステーションのリストを提供するワークステーション。

ノード コンピュータ、プリント・サーバなど、ネットワークに接続されているデバイス。

パラレル・ポート デバイスにあるポートで、複数の信号線によって複数のビットグループで情報を送信する（1 グループのビットごとに 1 信号線）。

ping ネットワークでデバイスがアクセス可能であるかどうかを診断する TCP/IP コマンド。

POP3 Post Office Protocol（ポスト・オフィス・プロトコル）。サーバから電子メールを受け取るためのプロトコル。

ポート パラレル・ポートなどの物理コネクタ、またはデバイスへの論理接続。

ポストストリング 論理プリンタに伝送する際に、各ジョブの末尾に送信されるストリング。最大 64 文字長。

プリストリング 論理プリンタに伝送する際に、各ジョブの先頭に送信されるストリング。最大 64 文字長。

プリント・サーバ ネットワークで、ネットワーク・プロトコルをプリンタ・プロトコルに変換するデバイス。

プロトコル ネットワークで、複数のワークステーション間でデータの送受信を行う方式。エラーなくデータの受信が行われるようにします。

RARP Reverse Arp（ラープ）。デバイスの IP アドレスをそのイーサネット・アドレスに基づいて特定する標準 TCP/IP 方式。

raw TCP port（ロウ TCP ポート） データが「生のまま」受信ノードに渡される TCP ポートの一種。

RJ45 形状が電話回線コネクタに似た、最大 8 芯のモジュラ・ジャック式コネクタ。10BASE-T/100BASE-T イーサネット接続やシリアル・ポート接続に使用されます。

シリアル・ポート プリンタまたはプリント・サーバで、一度に 1 ビットずつデータを伝送するポート。シリアル・ポートには、通常、25 ピン、9 ピン「D」、または RJ-45 コネクタ設定モード（パラレル・ポート）があります。

プリント・サーバを最高レベルのパラレル・ポート通信向けに設定する方式。

サーバ ネットワークで、クライアント・コンピュータにサービスを提供するローカル・エリア・ネットワーク上のデバイス。

SMTP Simple Mail Transfer Protocol。インターネットで電子メール・メッセージを送信するためのプロトコル。

SNMP Simple Network Management Protocol。ネットワークにあるデバイスを監視・制御するためのプロトコル。

スプーリング スプーリングとは、プリント・アプリケーションで、印刷前にディスク上の一時的な保管場所にデータを転送することです (プリント・キュー)。スプーリングを使用すると、単一のプリンタでも多くのジョブをキューに入れることができます。

静的 静的 IP アドレスのこと。情報はすべて、ネットワーク管理者によって入力されます。

サブネット・マスク ネットワークをさらに小さなサブネットワークに分割する TCP/IP 方式。

TCP/IP Transmission Control Protocol/Internet Protocol。ローカル・エリア・ネットワークで広く使用されているインターネット通信向けの標準的プロトコル。

TCP ポート TCP/IP サービスにアクセスする方式。1 つの IP アドレスしかないデバイスでも複数の TCP ポートをもつことができます。

Telnet LAN 上で 2 つのデバイス間で通信できるようにする TCP/IP プロトコル。

トラップ SNMP エージェントが SNMP 管理ステーションに送信する非送信請求メッセージ。異常な事象が発生した際に、そのことについて管理ステーションに通知します。

UNIX 多くの異種コンピュータで使用する、汎用コンピュータ・オペレーティング・システム。

ZebraNet 10/100 プrint・サーバ イーサネット接続ソリューション。

ZebraLink バー・コード・プリンタの接続と制御が、どこでも、いつでも、できるようになります。

ZPL II Zebra Programming Language II。強力なラベル定義 / プリンタ制御言語です。

索引



数字

10/100 PS 設定
 アクセス , 75
1 次ネットワーク
 設定 , 87

B

BSD スタイル
 プリント・キュー設定 , 50

F

FTP, 55

H

HP JetAdmin
 トラブルシューティング , 106
HP Web JetAdmin
 トラブルシューティング , 106

I

IPP サポート , 54
IP アドレス
 Telnet セッションを介した割り当て , 32
IP アドレスの割り当て , 30
 DHCP 使用 , 30
 DHCP なし , 30
 収集の使用 , 33
 スタティック・ルートの使用 , 32
 プリンタ LCD から , 31

L

LCD
 ネットワーク・パラメータ , 98
 メニュー・オプション , 98

M

MAC アドレス
 設定ラベル , 29

S

System V
 UNIX の設定 , 52
 前提条件 , 51
 プリント・キュー設定 , 51

T

TCP/IP 設定
 変更 , 92
telnet
 トラブルシューティング , 105

W

WebView
 アラートの設定 , 36
 ディレクトリ・リスト , 67
 デフォルトの 10/100 PS 工場出荷時設定 , 46
 プリンタ設定 , 60
 プリンタの設定の表示&変更をします , 61
 プロトコルの有効化 , 43
 ホーム・ページ , 58

Z

ZebraNet Bridge

デフォルトの 10/100 PS 工場出荷時設定, 47

あ

アップグレード

ファームウェア, 22

アドレス

設定ラベル, 29

アドレス管理プロトコル

要件, 14

アラート

WebView での設定, 36

設定と監視, 34

い

印刷

設定ラベル, 28

印刷に関する問題

トラブルシューティング, 104

印刷プロトコル, 54

インターネット印刷プロトコル, 54

え

営業, 9

か

カートリッジ用紙カートリッジを参照

外部 10/100 PS

仕様, 20

図, 23

取り付け, 24

概要, 14

カスタマ・サービス, 9

き

技術サポート, 9

け

現場で取り付け, 19

こ

工場出荷時に取り付け, 19

工場出荷時のデフォルトへのリセット

トラブルシューティング, 102

構成の設定

ブラウザ, 39

コントロール・パネル, 97

メニュー・オプション, 98

さ

サブネット・マスク

設定ラベル, 29

サポート対象サービス

要件, 14

参考文献, 12

し

収集, 33

仕様, 20

シリアル番号

設定ラベル, 29

す

図

外部 10/100 PS, 23

スタティック・ルート, 32

せ

責任, 2

設定

1 次ネットワーク, 87

TCP/IP 設定, 92

設定ラベル

IP アドレス, 29

MAC アドレス, 29

印刷, 28

サブネット・マスク, 29

シリアル番号, 29

図, 25

デフォルト・ゲートウェイ, 29

ハードウェア・アドレス, 29

必要情報フィールド, 29

前提条件

System V, 51

て

テスト・ボタン

デフォルトの 10/100 PS 工場出荷時設定, 47

デバイスを設定できない

トラブルシューティング, 106

デフォルト

パスワード, 28

ユーザー ID, 28

デフォルト・ゲートウェイ

設定ラベル, 29

デフォルトの 10/100 PS 工場出荷時設定

WebView 使用, 46

ZebraNet Bridge, 47

テスト・ボタン, 47

と

- トラブルシューティング
 - 10/100 PS ステータス・インジケータ , 102
 - HP JetAdmin, 106
 - HP Web JetAdmin, 106
 - telnet の使用 , 105
 - ZebraNet Bridge, 104
 - 印刷できない , 104
 - 工場出荷時のデフォルトへのリセット , 102
 - デバイスを設定できない , 106
 - ネットワーク・ステータス/アクティビティ・インジケータ , 103
 - プリンタに対して ping を行う , 104
- 取り付け
 - 外部 10/100 PS, 22, 24
- 取り付けタイプ , 19
 - 現場 , 19
 - 工場出荷時 , 19

ね

- ネットワーク・ステータス/アクティビティ・インジケータ
 - トラブルシューティング , 103
- ネットワーク・パラメータ
 - LCD, 98

は

- ハードウェア
 - 要件 , 15
- パスワード
 - デフォルト , 28
- パラレル・ポートの位置
 - 図 , 24

ふ

- ファームウェア
 - アップグレード , 22
- ファイル転送プロトコル , 55
- ブラウザ
 - 構成の設定 , 39
- ブラウザ・サポート
 - 要件 , 14

- プリンタに対して ping を行う
 - トラブルシューティング , 104
- プリント・キュー設定
 - BSD スタイル , 50
 - System V, 51
- プロトコル
 - WebView で有効化 , 43

へ

- 変更
 - TCP/IP 設定 , 92

め

- メニュー・オプション
 - LCD, 98
 - コントロール・パネル , 98

ゆ

- ユーザー ID
 - デフォルト , 28

よ

- 要件
 - アドレス管理プロトコル , 14
 - サポート対象サービス , 14
 - ハードウェア , 15
 - ブラウザ・サポート , 14
- 用紙
 - 注文 , 9
- 用紙、注文 , 9
- 用紙カートリッジ
 - 注文 , 9
- 用紙カートリッジの注文 , 9

り

- リボン
 - 注文 , 9
- リボンと用紙の注文 , 9

れ

- 連絡先 , 9
 - 技術サポート , 9



Zebra Technologies International, LLC

333 Corporate Woods Parkway
Vernon Hills, Illinois 60061.3109 U.S.A
電話 : +1 847 793 2600
フリーダイヤル : +1 800 423 0422
Fax: +1 847 913 8766

Zebra Technologies Europe Limited

Dukes Meadow
Millboard Road
Bourne End
Buckinghamshire, SL8 5XF, UK
電話 : +44 (0)1628 556000
Fax: +44 (0)1628 556001

Zebra Technologies Asia Pacific, LLC

120 Robinson Road
#06-01 Parakou Building
Singapore 068913
電話 : +65 6858 0722
Fax: +65 6885 0838

<http://www.zebra.com>